2023年度教育課程（カリキュラム）表

法律公務員学科（１年課程）１年次

第 1 学 年							
科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	実務教員科目
一般科目	001	適性検査演習Ⅰ	演習	必修	30	2	
	002	社会人総合演習Ⅰ	演習	必修	30	1	○
	003	電卓技能	演習	必修	30	1	
専門科目	004	基礎国語	講義	選必	30	1	
	005	基礎数学	講義	選必	120	4	
	006	応用数学	演習	選必	30	1	
	007	基礎社会	講義	選必	90	3	
	008	基礎社会Ⅱ	講義	選必	30	1	
	009	基礎国語演習	演習	選必	30	1	
	010	基礎数学演習	演習	選必	90	3	
	011	基礎社会演習	演習	選必	60	2	
	012	社会人基礎Ⅰ	講義	選必	90	4	
	013	社会人基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	○
	014	社会人総合演習Ⅱ	演習	選必	30	1	
	015	適性検査演習Ⅱ	演習	選必	60	2	
	016	商業簿記Ⅲ	講義	選必	90	3	
	017	公務員基礎知識Ⅰ	講義	選必	90	4	
	018	基礎国語Ⅰ	講義	選必	30	1	
	019	基礎数的Ⅰ	講義	選必	90	3	
	020	社会科学Ⅰ	講義	選必	90	3	
	021	文書処理技能	演習	選必	30	1	○
	022	コミュニケーション能力Ⅰ	演習	選必	60	2	
	023	適性検査演習Ⅲ	演習	選必	30	2	
	024	基礎国語Ⅱ	講義	選必	30	1	
	025	基礎数的Ⅱ	講義	選必	90	3	
	026	社会科学Ⅱ	講義	選必	90	3	
	027	応用国語演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	028	応用数的演習Ⅰ	演習	選必	120	4	
	029	社会科学演習	演習	選必	60	2	
	030	人文科学Ⅰ	講義	選必	30	1	
	031	人文科学Ⅱ	講義	選必	30	1	
	032	適性検査演習Ⅳ	演習	選必	30	2	
	033	基礎国語演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	034	基礎数的演習	演習	選必	60	2	
	035	憲法概論	講義	選必	60	2	
	036	憲法演習	演習	選必	60	2	
	037	民法概論	講義	選必	90	3	
	038	民法演習	演習	選必	90	3	

039	行政法概論	講義	選必	60	2	
040	行政法演習	演習	選必	60	2	
041	社会学	講義	選必	30	1	
042	ミクロ経済学	講義	選必	60	2	
043	ミクロ経済学演習	演習	選必	60	2	
044	マクロ経済学	講義	選必	60	2	
045	マクロ経済学演習	演習	選必	90	3	
046	財政学	講義	選必	30	1	
047	商業簿記Ⅰ	講義	選必	150	5	
048	就職活動Ⅰ	講義	選必	60	2	
049	就職活動Ⅱ	講義	選必	60	2	
050	言語能力	演習	選必	30	2	
051	非言語能力	演習	選必	60	2	
052	プレゼンテーション能力	演習	選必	30	1	○
053	マーケティング基礎	講義	選必	120	4	
054	税務会計	講義	選必	120	4	
055	秘書基礎Ⅰ	講義	選必	60	2	
056	秘書基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	
057	医療請求事務2級	講義	選必	60	2	
058	公会計	講義	選択	30	1	
059	救命講習	実習	選必	30	1	
1学年合計授業時間数・取得単位数				900	32	

（備考）

選必は選択必修科目であり、810時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

001.適性検査演習Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	適性検査演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	行政事務の基本となる「事務処理能力」を向上させ、事務官として職務を遂行できる能力を身に付けることを授業目的とする。公務員試験で出題される適性試験に対応した問題集を使用し、反復練習を繰り返すことで事務処理能力を定着させ、事務官として職務を遂行できる人物となることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	適性検査、性格検査の目的と形式について	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第16回	適性検査の種類（計算④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第2回	適性検査、性格検査の受検要領	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第17回	適性検査の種類（置換①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第3回	適性検査、性格検査の練習方法①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第18回	適性検査の種類（置換②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第4回	適性検査、性格検査の練習方法②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第19回	適性検査の種類（置換③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第5回	適性検査の種類（照合①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第20回	適性検査の種類（置換④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第6回	適性検査の種類（照合②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第21回	適性検査の種類（図形①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第7回	適性検査の種類（照合③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第22回	適性検査の種類（図形②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第8回	適性検査の種類（照合④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第23回	適性検査の種類（図形③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第9回	適性検査の種類（分類①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第24回	適性検査の種類（図形④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第10回	適性検査の種類（分類②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第25回	適性検査の種類（複合①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第11回	適性検査の種類（分類③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第26回	適性検査の種類（複合②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第12回	適性検査の種類（分類④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第27回	適性検査の種類（複合③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第13回	適性検査の種類（計算①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第28回	適性検査の種類（複合④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第14回	適性検査の種類（計算②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第29回	適性検査の種類（複合⑤）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第15回	適性検査の種類（計算③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第30回	適性検査の種類（複合⑥）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

準備学習等	事前準備は不要だが、間違えた問題や時間内に解答できなかった問題の復習を行い、弱点克服に努めてほしい。
教科書 参考書等	TEXT適性試験、実戦問題集適性試験、公務員ガイドブック（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。問題の自己採点ややり直しも時間に含み、授業1回あたり1時間を想定している。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会人総合演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也 佐々木 謙	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	佐々木謙		

成績評価方法			
レポート	:	70	%
平常点	:	30	%
	:		%
	:		%
	:		%

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	公務員として働いていくために必要な倫理、規律、ルールがあるが、それらがなぜ必要であるのかを教授する。その後、地方公共団体等の研修で利用されている教材を用い、実務経験教員と担当教員が打ち合わせを行い、レクチャーを受けた後に、各項目について授業し理解をしてもらう。また過去の経験から、地方行政にどういった人材が求められているか、求められる人材になるために必要な知識を教授する。
実務経験教員の実務経験内容	仙台市職員として長年勤務、副市長も歴任。地下鉄建設やスポーツチーム誘致など、様々な場面で地方行政に携わった。
授業目的 到達目標	社会人、特に公共のために働く公務員として必要な倫理に関わる規則やルールなどの知識を理解し、行動することができるようになることを授業目的とする。実際起こった事案を元に、Ｑ＆A形式やチェックリスト形式、グループディスカッション形式で公務員が持つべき意識を学んでいく。最終的にコンプライアンス意識を持った行動ができるようになること、ディスカッションにより周囲との相互理解を深められるようになることを到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	公務員の役割と求められる人物像	佐々木謙
第2回	倫理とは何か？ コンプライアンスとは何か？	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第3回	自律性と抑止力のバランス 公務員とは何か？	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第4回	公務の特性について 時代、環境の変化は倫理観に影響する	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第5回	ノブレスオブリッジ 求心力を広げる	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第6回	職場でのコミュニケーション あるべき姿からありたい姿へ	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第7回	不祥事の温床 法精神を体現する	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第8回	不祥事とは何か？ 倫理の腐敗と頽廃	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第9回	公務外の不祥事はなぜ起こる？	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第10回	仕事に対する姿勢・服務規律①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第11回	仕事に対する姿勢・服務規律②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第12回	仕事に対する姿勢・服務規律③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第13回	贈収賄や業務上横領の防止①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第14回	贈収賄や業務上横領の防止②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第15回	交通法規の遵守	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第16回	個人情報の保護 情報セキュリティ対策①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第17回	個人情報の保護 情報セキュリティ対策②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第18回	人権問題	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第19回	説明責任・クレーム対応	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第20回	知的財産権への対応	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第21回	環境への配慮	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第22回	実際に起こった事例①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第23回	実際に起こった事例②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第24回	グループディスカッションの進め方と注意すべき点について	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第25回	グループディスカッション①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第26回	グループディスカッション②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第27回	グループディスカッション③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第28回	グループディスカッション④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第29回	グループディスカッション⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第30回	公務員として働くために	佐々木謙

準備学習等	講義後、その内容を元にした課題やレポートの提出を行い、成績を評価する。レポートについては授業中にもある程度記入する時間を設けるが、時間内に終わらなかった分については各自取り組み、後日必ず提出すること。
教科書 参考書等	公務員倫理を考えるオンデマンド版（株式会社時事通信出版局）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。授業1回あたり1時間を想定している。

003.電卓技能

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	電卓技能	授業形態	演習
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	電卓技能の基礎を習得することを授業目的とする。与えられた時間内にミスなく迅速かつ正確なキータッチで電卓操作ができるようになることを到達目標とする。そのため教材として日本電卓技能検定の問題集を使用し、各自が自分に合った目標（級）を定め授業に取り組むものとする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	電卓の基礎知識とキータッチの練習	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第16回	各自受験級問題練習⑥	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第2回	加減算練習	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第17回	各自受験級問題練習⑦	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第3回	見取り算練習	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第18回	各自受験級問題練習⑧	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第4回	乗算練習	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第19回	各自受験級問題練習⑨	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第5回	除算練習	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第20回	各自受験級問題練習⑩	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第6回	伝票算練習	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第21回	各自受験級問題練習⑪	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第7回	3、4級問題の練習①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第22回	各自受験級問題練習⑫	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第8回	3、4級問題の練習②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第23回	各自受験級問題練習⑬	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第9回	1、2級問題の練習①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第24回	各自受験級問題練習⑭	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第10回	1、2級問題の練習②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第25回	各自受験級問題練習⑮	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第11回	各自受験級問題練習①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第26回	各自受験級問題練習⑯	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第12回	各自受験級問題練習②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第27回	各自受験級問題練習⑰	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第13回	各自受験級問題練習③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第28回	各自受験級問題練習⑱	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第14回	各自受験級問題練習④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第29回	各自受験級問題練習⑲	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第15回	各自受験級問題練習⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第30回	各自受験級問題練習⑳	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

準備学習等	事前準備は不要である。この授業ではすべての回で電卓を使用する他、各自受験級問題演習の時間では希望する級の問題集、伝票を使用して授業を行う。忘れずに持参すること。
教科書 参考書等	電卓マスター講座基本操作レクチャー講義レジュメ、 電卓技能検定試験問題集、伝票（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。授業1回あたり1時間を想定している。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	基礎国語	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	15回
科目教員	大瀧 武史 澁谷 知之	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験の受験に必要な文章理解・国語の基礎項目を理解し、基本的問題を確実に得点できる能力を身に付けることを目的とする。文章理解においては、まず問題を解く際の基本的な考え方を理解した上で例題に取り組み、正しい解き方を身に付ける。さらに、それを前提に様々なパターンの問題に触れて、パターン別の解き方のコツを掴み、基礎レベルの問題を確実に得点できることを到達目標とする。また、国語においては、頻出分野の問題演習を行い、基本的知識を習得することを到達目標とする。さらにこの科目では、公務員試験で実施される作文試験の対策も行う。まずは採点のポイントを理解し、それぞれの分野における基本項目を学ぶことを目的とする。それを踏まえた上で、合格答案を作成できることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	主旨・要旨把握問題①、漢字①	大瀧 武史 澁谷 知之
第2回	主旨・要旨把握問題②、漢字②	大瀧 武史 澁谷 知之
第3回	主旨・要旨把握問題③、漢字③	大瀧 武史 澁谷 知之
第4回	主旨・要旨把握問題④、漢字④	大瀧 武史 澁谷 知之
第5回	主旨・要旨把握問題⑤、漢字⑤	大瀧 武史 澁谷 知之
第6回	主旨・要旨把握問題⑥、漢字⑥	大瀧 武史 澁谷 知之
第7回	主旨・要旨把握問題⑦、四字熟語①	大瀧 武史 澁谷 知之

第8回	内容合致問題①、四字熟語②	大瀧 武史 澁谷 知之
第9回	内容合致問題②、四字熟語③	大瀧 武史 澁谷 知之
第10回	文章整序問題①、四字熟語④	大瀧 武史 澁谷 知之
第11回	文章整序問題②、ことわざ・故事成語①	大瀧 武史 澁谷 知之
第12回	空欄補充問題①、ことわざ・故事成語②	大瀧 武史 澁谷 知之
第13回	空欄補充問題②、ことわざ・故事成語③	大瀧 武史 澁谷 知之
第14回	作文入門①	大瀧 武史 澁谷 知之
第15回	作文入門②	大瀧 武史 澁谷 知之

準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	基礎数学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
		授業回数	60回
科目教員	佐々木 智也 松村 匡	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈）のうち、特に数的推理と判断推理について基礎的な知識の習得を図ることが授業目的となる。 「数的推理」分野では、問題を解くうえで欠かせない公式の習得およびそれを元に基礎的な問題に対応できるようになること、「判断推理」分野では、条件を正確に読み取り、論理的に組み立てることができるようになることをそれぞれ到達目標とする。理解度を高めるために類似問題の演習時間を設け、苦手箇所の解説を行っていく。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	数と文字式の計算（１）（数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第31回	論理（１）（判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第2回	数と文字式の計算（２）（数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第32回	論理（２）（判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第3回	方程式（１）（数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第33回	集合の要素（１）（判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第4回	方程式（２）（数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第34回	集合の要素（２）（判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第5回	不等式（１）（数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第35回	順序（１）（判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第6回	不等式（２）（数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第36回	順序（２）（判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第7回	整数（１）（数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第37回	順序（３）（判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡

第8回	整数（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第38回	位置（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第9回	計算パズル（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第39回	位置（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第10回	計算パズル（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第40回	方位（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第11回	割合（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第41回	方位（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第12回	割合（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第42回	対応（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第13回	比（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第43回	対応（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第14回	比（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第44回	勝敗（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第15回	速さ（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第45回	勝敗（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第16回	速さ（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第46回	うそつき（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第17回	速さ（3） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第47回	うそつき（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第18回	速さ（4） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第48回	ウソの発言 （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第19回	その他の文章題（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第49回	暗号（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第20回	その他の文章題（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第50回	暗号（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第21回	場合の数（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第51回	推理（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第22回	場合の数（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第52回	推理（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第23回	確率（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第53回	手順（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第24回	確率（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第54回	手順（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第25回	問題演習（1） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第55回	問題演習（1） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第26回	問題演習（2） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第56回	問題演習（2） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第27回	問題演習（3） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第57回	問題演習（3） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第28回	問題演習（4） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第58回	問題演習（4） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡

第29回	問題演習（５） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第59回	問題演習（５） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡
第30回	問題演習（６） （数的推理編）	佐々木 智也 松村 匡	第60回	問題演習（６） （判断推理編）	佐々木 智也 松村 匡

準備学習等	日々の授業による知識の定着を奨める。公務員試験合格の為には、基礎数学における内容の習熟は必須であり、今後の演習問題読解においても重要な科目となっていることを意識し日々の復習に努めてほしい。
教科書 参考書等	数的推理　問題編、判断推理　問題編、スタンダード問題集・解答解説（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。習熟度の確認の為、定期的にウィークリーチェックを実施する。なお、問題演習にはその解説の時間も含まれる。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	応用数学	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	佐々木 智也 松村 匡	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈）のうち、特に図形・資料解釈の分野について、基礎的な知識の習得を図ることが授業目的となる。 「図形」分野では、様々な形を正確にとらえ正答を導けるようになること、「資料解釈」では、資料を正しく読み取る読解力、解析力を習得することをそれぞれ到達目標とする。理解度を高めるため、類似問題を解く演習の時間を設け、苦手箇所の解説を行っていく。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	回転（図形編）	佐々木 智也 松村 匡	第9回	立体構成（図形編）	佐々木 智也 松村 匡
第2回	軌跡（図形編）	佐々木 智也 松村 匡	第10回	平面図形の計量（１）（図形編）	佐々木 智也 松村 匡
第3回	道順（図形編）	佐々木 智也 松村 匡	第11回	平面図形の計量（２）（図形編）	佐々木 智也 松村 匡
第4回	一筆書き（図形編）	佐々木 智也 松村 匡	第12回	立体図形の計量（１）（図形編）	佐々木 智也 松村 匡
第5回	位相（図形編）	佐々木 智也 松村 匡	第13回	立体図形の計量（２）（図形編）	佐々木 智也 松村 匡
第6回	平面構成（図形編）	佐々木 智也 松村 匡	第14回	資料解釈（１）（図形編）	佐々木 智也 松村 匡
第7回	正多面体（図形編）	佐々木 智也 松村 匡	第15回	資料解釈（２）（図形編）	佐々木 智也 松村 匡
第8回	展開図（図形編）	佐々木 智也 松村 匡			

準備学習等	日々の授業による知識の定着を奨める。公務員試験合格の為には、応用数学における内容の習熟は必須であり今後の演習問題読解においても重要な科目となっていることを意識し、日々の復習に努めてほしい。
教科書 参考書等	図形・資料解釈　問題編、スタンダード問題集・解答解説（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。習熟度の確認の為、定期的にウィークリーチェックを実施する。なお、問題演習にはその解説の時間も含まれる。

学科	行政公務員学科(１年課程)・法律公務員学科(１年課程)・ 総合公務員学科(１年課程)・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	基礎社会	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である社会科学(政治・経済)及び人文科学(日本史・世界史)について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業においてさらなる知識の習熟を目指す。 「政治」分野では、公務員試験の出題傾向を把握し合格レベルに到達できるようになること、「経済」分野では、公務員試験の出題傾向を把握し合格レベルに到達できるようになること、「日本史」分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、「世界史」分野では、東洋史とりわけ中国史について、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになることをそれぞれ到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【政治】　政治の基本理念　政治制度論	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第2回	【日本史】　ガイダンス　原始　先土器・縄文・弥生時代 古代①　大和政権・聖徳太子	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第3回	【政治】　政治過程論	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第4回	【日本史】　古代②　大化の改新・律令制度 古代③　律令制度・班田収授法・租庸調	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第5回	【政治】　日本国憲法の特色　基本的人権総論　包括的基本権	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第6回	【日本史】　古代④　奈良時代・初期荘園・天平文化 古代⑤　平安時代・律令政治の再建	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第7回	【政治】　平等権　精神的自由権	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂

第8回	【日本史】　古代⑥　平安時代・摂関政治 古代⑦　平安時代・寄進地系荘園	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第9回	【政治】　経済的自由権　人身の自由	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第10回	【政治】　社会権　能動的権利と受益権	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第11回	【日本史】　古代⑧　平安時代・武士の起こり 古代⑨　平安時代　院政	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第12回	【政治】　憲法改正の手続　国会の機構と運営	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第13回	【日本史】　中世①　鎌倉時代・源平の争乱 中世②　鎌倉時代・鎌倉幕府の成立	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第14回	【政治】　内閣の機構と運営	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第15回	【日本史】　中世③　鎌倉時代・執権政治 中世④　鎌倉時代　元寇・幕府の衰退	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第16回	【政治】　裁判所の機構と運営	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第17回	【日本史】　中世⑤　室町時代・室町幕府の成立 中世⑥　室町時代・日明貿易・戦国時代	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第18回	【政治】　地方自治	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第19回	【経済】　経済社会の変容と経済体制	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第20回	【日本史】　近世①　安土桃山時代・織豊政権・南蛮貿易 近世②　安土桃山時代・太閤検地・江戸幕府の成立	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第21回	【経済】　現代の企業	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第22回	【日本史】　近世③　江戸時代・幕藩体制・鎖国政策 近世④　文治政治・正徳の治	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第23回	【経済】　現代の市場	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第24回	【日本史】　近世⑤　享保の改革・田沼政治 近世⑥　寛政の改革・大御所時代・天保の改革	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第25回	【経済】　国民所得	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第26回	【日本史】　近代①　明治時代　幕末・明治維新 近代②　明治時代・明治初期の外交・自由民権運動	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第27回	【経済】　経済成長と景気循環	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第28回	【経済】　通貨制度と金融政策	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂

第29回	【日本史】　近代③　明治時代　日清戦争・日露戦争 近代④　大正時代　第一次世界大戦・大正デモクラシー	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第30回	【経済】　財政制度と財政政策	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第31回	【日本史】　近代⑤　昭和時代　政党内閣・満州事変・第二次世界大戦 現代①　戦後の民主化及び内閣	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第32回	【経済】　貿易の外国為替	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第33回	【日本史】　文化史①　飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化 ・国風文化・院政期の文化・鎌倉文化	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第34回	【経済】　日本経済の動向	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第35回	【日本史】　文化史②　南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化 ・寛永文化・元禄文化・化政文化・明治期の文化	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第36回	【経済】　国際経済の動向	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第37回	【社会】　社会理論	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第38回	【世界史】　東洋史①　殷・周・春秋戦国・秦・前漢・新・後漢	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第39回	【社会】　労働問題	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第40回	【世界史】　東洋史②　魏・晋・南北朝・隋・唐・宋	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第41回	【社会】　社会保障	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第42回	【世界史】　東洋史③　元・明・清	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第43回	【社会】　環境問題	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第44回	【世界史】　東洋史④　清末	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂
第45回	【社会】　国際経済	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂

準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意すること。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。
教科書 参考書等	テキスト　政治(大原出版)、スタンダード問題集　社会科学-問題編(大原出版)、テキスト　経済(大原出版)、スタンダード問題集　社会科学-解答・解説編(大原出版)、テキスト　社会(大原出版)、テキスト　日本史・世界史(大原出版)、レジュメ　日本史・世界史(大原出版)、スタンダード問題集　人文科学-問題編(大原出版)、スタンダード問題集　人文科学-解答編(大原出版)
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、 一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎社会Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	15回
科目教員	尾形 幸祐	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である地理について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業において更なる知識の習熟を目指す。日本のみならず世界情勢についても理解を深め、最終的には公務員試験一次試験を合格できる知識を身につけることを到達目標としている。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	世界の地形	尾形 幸祐
第2回	平野と海岸の地形	尾形 幸祐
第3回	特殊な地形と海洋	尾形 幸祐
第4回	世界の気候・植生・土壌	尾形 幸祐
第5回	気候区分	尾形 幸祐
第6回	ハイサーグラフ・地図の特色と利用	尾形 幸祐
第7回	アジア・ヨーロッパの農牧業	尾形 幸祐
第8回	アメリカの農牧業・世界の漁場	尾形 幸祐
第9回	エネルギー資源と原料資源	尾形 幸祐

第10回	世界の工業地域（ヨーロッパ）	尾形 幸祐
第11回	世界の工業地域（アメリカ・中国）	尾形 幸祐
第12回	生活と地域	尾形 幸祐
第13回	日本の地理（国土・気候・海流）	尾形 幸祐
第14回	日本の地理（農業・漁業・工業）	尾形 幸祐
第15回	日本の地理（諸地域）	尾形 幸祐

準備学習等	日々の復習による知識の定着を勧める。公務員試験合格のためには重要な科目となっているため、日々の授業や復習に努めてほしい。
教科書 参考書等	地理　テキスト・ドリル（大原出版）、新詳高等地図（帝国書院）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

009.基礎国語演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	基礎国語演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	大瀧 武史 澁谷 知之	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される文章理解、国語の標準レベルの問題を確実に得点できる能力を身に付けることを目的とする。文章理解においては、基礎国語で習得した「問題を解く際の正しい考え方」を前提に様々な問題を解き、パターン別の解き方のコツを掴み、受験時における標準レベルの問題を確実に得点できるようになることを到達目標とする。また、国語においては、頻出分野について基礎国語から引き続き問題演習を行い、基礎国語で学んだ数よりもさらに豊富な知識を習得することを到達目標とする。さらに、基礎国語に引き続き、作文対策も行う。基礎国語で学んだ採点のポイントを踏まえ、答案作成することを目的とする。その上で、頻出するテーマにおいて合格答案を作成できることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	主旨・要旨把握問題（標準問題）①、漢字（標準レベル）①	大瀧 武史 澁谷 知之
第2回	主旨・要旨把握問題（標準問題）②、漢字（標準レベル）②	大瀧 武史 澁谷 知之
第3回	主旨・要旨把握問題（標準問題）③、漢字（標準レベル）③	大瀧 武史 澁谷 知之
第4回	主旨・要旨把握問題（標準問題）④、漢字（標準レベル）④	大瀧 武史 澁谷 知之
第5回	主旨・要旨把握問題（標準問題）⑤、漢字（標準レベル）⑤	大瀧 武史 澁谷 知之
第6回	内容合致問題（標準問題）①、四字熟語（標準レベル）①	大瀧 武史 澁谷 知之
第7回	内容合致問題（標準問題）②、四字熟語（標準レベル）②	大瀧 武史 澁谷 知之

第8回	文章整序問題（標準問題）①、四字熟語（標準レベル）③	大瀧 武史 澁谷 知之
第9回	文章整序問題（標準問題）②、四字熟語（標準レベル）④	大瀧 武史 澁谷 知之
第10回	文章整序問題（標準問題）③、ことわざ・故事成語（標準レベル）①	大瀧 武史 澁谷 知之
第11回	空欄補充問題（標準問題）①、ことわざ・故事成語（標準レベル）②	大瀧 武史 澁谷 知之
第12回	空欄補充問題（標準問題）②、ことわざ・故事成語（標準レベル）③	大瀧 武史 澁谷 知之
第13回	空欄補充問題（標準問題）③、ことわざ・故事成語（標準レベル）④	大瀧 武史 澁谷 知之
第14回	作文作成①	大瀧 武史 澁谷 知之
第15回	作文作成②	大瀧 武史 澁谷 知之

準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。
教科書 参考書等	スタンダード問題集文章理解、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。

010.基礎数学演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	基礎数学演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	佐々木 智也 松村 匡	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈）の問題の傾向をつかみ、様々な問題に対応できるようになることが授業目的となる。 全範囲対応の問題集および模擬試験を用いて演習、解説を中心とした授業を行い、その問題にあった適切な解法を自分で見つけられるようになることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第24回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第2回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第25回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第3回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第26回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第4回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第27回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第5回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第28回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第6回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第29回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第7回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第30回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第8回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第31回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡

第9回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第32回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第10回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第33回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第11回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第34回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第12回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第35回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第13回	問題演習（数的推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第36回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第14回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第37回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第15回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第38回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第16回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第39回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第17回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第40回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第18回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第41回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第19回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第42回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第20回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第43回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第21回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第44回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第22回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡	第45回	問題演習（図形総復習）	佐々木 智也 松村 匡
第23回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木 智也 松村 匡			

準備学習等	数的処理全範囲での問題演習となるため、基礎的な知識が不足していると感じた場合は速やかに過去の授業の復習を行うこと。
教科書 参考書等	スタンダード問題集・解答解説、公務員試験模擬試験・解説（大原出版） 公務員希望者用模擬試験（実務教育出版）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。

011.基礎社会演習

学科	行政公務員学科(１年課程)・法律公務員学科(１年課程)・ 総合公務員学科(１年課程)・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	基礎社会演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 蜂谷 志穂 尾形　幸祐	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	模擬試験形式の教材を使い、実際の公務員試験に対応可能な幅広い知識と解法を身に付けることを目的とする。「政治」分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に学習を深めることで、合格レベルに到達できるようになること、「経済」分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に学習を深めることで、合格レベルに到達できるようになること、「日本史」分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、「世界史」分野では、東洋史とりわけ中国史について、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、「地理」分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に学習を深めることで、合格レベルに到達できるようになることをそれぞれ到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	模擬試験①　政治の基本概念、原始時代、世界の地形	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第2回	模擬試験②　政治制度論、飛鳥時代、平野と海岸の地形	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第3回	模擬試験③　日本国憲法の特色、奈良時代、特殊な地形と海洋	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第4回	模擬試験④　基本的人権総論、平安時代①、世界の風	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第5回	模擬試験⑤　包括的基本権、平安時代②、世界の植生・土壌	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第6回	模擬試験⑥　平等権、鎌倉時代①、世界の気候	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐

第7回	模擬試験⑦　精神的自由権・経済的自由権、鎌倉時代②、 雨温図とハイサーグラフ	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第8回	模擬試験⑧　人身の自由、室町時代①、地図の特色と利用	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第9回	模擬試験⑨　社会権・能動的権利と受益権、室町時代②、資源・産業	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第10回	模擬試験⑩　憲法改正の手続、室町時代③、食料の生産と消費	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第11回	模擬試験⑪　国会の機構と運営、安土桃山時代、アジアの農牧業	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第12回	模擬試験⑫　内閣の機構と運営、江戸時代①、ヨーロッパの農牧業	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第13回	模擬試験⑬　裁判所の機構と運営、江戸時代②、アメリカの農牧業と漁業	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第14回	模擬試験⑭　地方自治、江戸時代③、エネルギー資源(石炭)	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第15回	模擬試験⑮　現代の企業、江戸時代④、エネルギー資源(石油)	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第16回	模擬試験⑯　国民所得、江戸時代⑤、エネルギー資源(鉄山)	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第17回	模擬試験⑰　経済成長と景気循環、江戸時代⑥、世界の電力	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第18回	模擬試験⑱　通貨制度と金融政策、江戸時代⑦、 工業化と工業地域	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第19回	模擬試験⑲　財政制度と財政政策、明治時代①、 世界の工業地域(ヨーロッパ)	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第20回	模擬試験⑳　貿易と外国為替、明治時代②、 世界の工業地域(アメリカ・中国)	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第21回	模擬試験㉑　日本経済の動向、明治時代③、村落と都市	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第22回	模擬試験㉒　国際経済の動向、明治時代④、人口の地域的特色	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第23回	模擬試験㉓　社会集団、大正時代、国土と住民	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第24回	模擬試験㉔　社会保障制度の形成、昭和時代①、交通・通信と貿易	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第25回	模擬試験㉕　日本の社会保障制度、昭和時代②、世界の環境問題	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第26回	模擬試験㉖　社会保障の状況、昭和時代③、日本の国土	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第27回	模擬試験㉗　医療保障制度・年金制度の改革、中国史①（殷～後漢）、 日本の自然環境	大瀧 武史　今野 洸 蜂谷 志穂　尾形幸祐

第28回	模擬試験㉘　日本の環境問題、中国史②（三国時代～宋）、日本の人口	大瀧 武史　今野 光 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第29回	模擬試験㉙　地球環境問題、中国史③(元～明)、日本の産業	大瀧 武史　今野 光 蜂谷 志穂　尾形幸祐
第30回	模擬試験㉚　国際組織、中国史④(清)、日本の諸地域	大瀧 武史　今野 光 蜂谷 志穂　尾形幸祐

準備学習等	講義開始日までに各自ノートを用意すること。各回の講義終了後は、テキストやレジュメ、模擬試験等を使用して各自復習しておくこと。
教科書 参考書等	テキスト・ドリル(政治・経済・社会・日本史・世界史・地理)　レジュメ(経済・社会・日本史・世界史・地理)、公務員試験模擬問題・解説(大原出版)　地図帳(帝国書院)
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

012.社会人基礎Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	社会人基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	4単位
		授業回数	45回
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	社会人になるにあたって必要な、他者との相互理解やコミュニケーション能力を身に付けること、そして自分の意見を相手に伝えられるようになることが授業目的となる。そのため、職種研究により志望先への理解を深め、校外研修を通じて積極的に他者と関わることを促し、自己分析と模擬面接練習を繰り返すことにより、自らを表現するための能力を磨いていく。それらが充分に身に付いた状態となることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	職種研究①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第24回	模擬面接⑧	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第2回	職種研究②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第25回	模擬面接⑨	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第3回	職種研究③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第26回	模擬面接⑩	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第4回	職種研究④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第27回	模擬面接⑪	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第5回	職種研究⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第28回	模擬面接⑫	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第6回	自己分析の進め方 自己分析シート作成①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第29回	模擬面接⑬	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第7回	自己分析シート作成②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第30回	模擬面接⑭	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第8回	自己分析シート作成③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第31回	模擬面接⑮	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第9回	自己分析シート作成④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第32回	模擬面接⑯	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第10回	自己分析シート作成⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第33回	模擬面接⑰	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第11回	入退室と立ち振る舞い 面接時に注意すべきこと	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第34回	模擬面接⑱	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第12回	面接想定シート作成①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第35回	模擬面接⑲	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第13回	面接想定シート作成②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第36回	模擬面接⑳	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第14回	面接想定シート作成③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第37回	校外研修及びその準備作業①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第15回	面接想定シート作成④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第38回	校外研修及びその準備作業②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第16回	面接想定シート作成⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第39回	校外研修及びその準備作業③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第17回	模擬面接①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第40回	校外研修及びその準備作業④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第18回	模擬面接②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第41回	校外研修及びその準備作業⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第19回	模擬面接③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第42回	校外研修及びその準備作業⑥	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第20回	模擬面接④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第43回	校外研修及びその準備作業⑦	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第21回	模擬面接⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第44回	校外研修及びその準備作業⑧	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第22回	模擬面接⑥	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第45回	校外研修及びその準備作業⑨	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第23回	模擬面接⑦	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也			

準備学習等	他の授業と比較してレポートが多い。レポートは自分で記入するもの以外に、面接練習を面接官役が評価したものも含まれる。成績評価に影響するため、提出期限やレポートの紛失に気を付けること。
教科書 参考書等	テキスト面接試験対策（大原出版） 他配布プリント多数
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。また、模擬面接及び校外研修では科目教員以外が補助として面接官役や引率役を務める場合がある。

013.社会人基礎Ⅱ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会人基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	大庄司 文子 大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員	大庄司 文子	成績評価方法	筆記試験 : 40 % ミニテスト : 30 % 平常点 : 30 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁におけるシステム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。		
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社にて、OA機器インストラクション業務に従事。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。		
授業目的 到達目標	基礎的なパソコンスキルや電話応対など即戦力として活躍できる人材となることを授業目的とし、大原学園独自のPCP（プレ・キャリア・プログラム）の授業を中心に行っていく。パソコンスキルにおいては文書作成ソフトの実践的な使用法を学ぶことで、ビジネス文書をスムーズに作成できるようになることを到達目標とする。電話応対は敬語などの正しい言葉遣いを用いてスムーズな応対ができるようになることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	文書作成ソフト（文字書式・拡張書式・段落書式）	大庄司 文子
第2回	文書作成ソフト（タブとリーダー・段組み・箇条書き）	大庄司 文子
第3回	文書作成ソフト（段落番号・ドロップキャップ・スタイル）	大庄司 文子
第4回	文書作成ソフト（ページ設定と印刷設定）	大庄司 文子
第5回	文書作成ソフト（テキスト編集・ヘッダーとフッター）	大庄司 文子
第6回	文書作成ソフト（表のデザインとレイアウト）	大庄司 文子
第7回	文書作成ソフト（オブジェクトの作成・図と図形の書式）	大庄司 文子

第8回	文書作成ソフト（配置と整列）	大庄司 文子
第9回	文書作成練習問題①	大庄司 文子
第10回	文書作成練習問題②	大庄司 文子
第11回	文書作成練習問題③	大庄司 文子
第12回	文書作成模擬問題①	大庄司 文子
第13回	文書作成模擬問題②	大庄司 文子
第14回	文書作成模擬問題③	大庄司 文子
第15回	文書作成模擬問題④	大庄司 文子
第16回	文書作成模擬問題⑤	大庄司 文子
第17回	文書作成模擬問題⑥	大庄司 文子
第18回	文書作成模擬問題⑦	大庄司 文子
第19回	職場のマナー（社会人の心構えと職場のマナー）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第20回	職場のマナー（仕事の進め方と報・連・相）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第21回	挨拶と敬語（挨拶の種類・笑顔・お辞儀）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第22回	挨拶と敬語（正しい敬語の使い方・応対の基本）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第23回	電話応対①（電話応対のマナー）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第24回	電話応対②（電話の受け方、かけ方）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第25回	効果測定①（敬語の基本・電話応対の基本）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第26回	電話応対③（状況別の電話応対）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第27回	効果測定②（状況別の電話応対）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第28回	効果測定③（電話応対実技）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第29回	文書作成過去問題演習①	大庄司 文子
第30回	文書作成過去問題演習②	大庄司 文子

準備学習等	予習は不要であるが、授業で進んだところまでの復習をしっかりと行うこと。パソコンを使っての授業が多いため、復習にあたって自宅にパソコンがない学生は校内のパソコン教室を使用しても良い。その場合は科目教員にあらかじめ申し出ること。
教科書 参考書等	サーティファイWord文書処理技能認定試験3級問題集、サーティファイWord文書処理技能認定試験1.2級問題集（株式会社ウィネット）PCPビジネスマナー（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

014.社会人総合演習Ⅱ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会人総合演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	レポート : 40 % 小テスト : 30 % 平常点 : 30 % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員として知っておくべき知識の習得、特に公務員試験の教養試験でも出題される時事用語に関する知識の向上を授業目的とする。社会全体で起こっている物事の把握はもちろん、自分の志望先に関わる知識を身に付けることを到達目標とするため、授業内に何度か選択授業の機会を設ける。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	時事問題（政治編①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第16回	時事問題（科学・自然編④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第2回	時事問題（政治編②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第17回	時事問題（国際編①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第3回	時事問題（政治編③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第18回	時事問題（国際編②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第4回	時事問題（政治編④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第19回	時事問題（国際編③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第5回	時事問題（経済編①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第20回	時事問題（国際編④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第6回	時事問題（経済編②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第21回	選択授業①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第7回	時事問題（経済編③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第22回	選択授業②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第8回	時事問題（経済編④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第23回	選択授業③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第9回	時事問題（社会・文化編①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第24回	選択授業④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第10回	時事問題（社会・文化編②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第25回	選択授業⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第11回	時事問題（社会・文化編③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第26回	選択授業⑥	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第12回	時事問題（社会・文化編④）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第27回	選択授業⑦	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第13回	時事問題（科学・自然編①）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第28回	選択授業⑧	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第14回	時事問題（科学・自然編②）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第29回	選択授業⑨	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第15回	時事問題（科学・自然編③）	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第30回	選択授業⑩	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

準備学習等	特に予習の必要はないが、選択授業実施の際にはレポートの事後提出を求めることが多い。期限までの提出を徹底すること。
教科書 参考書等	ロボット先生の公務員試験頻出時事（大原出版）公務員試験速攻の時事（実務教育出版）
備考	選択授業は各種業務説明会、スーツセミナー、メイクアップセミナー、体力試験対策等の中から自分の進路希望に沿うものを選択し参加する形とする。授業1回あたり1時間を想定している。

015.適性検査演習Ⅱ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	適性検査演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	授業回数	60回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	適性検査演習Ⅰに引き続き、行政事務に携わる者の基本となる「事務処理能力」を向上させ、事務官として職務を遂行することができる能力を身に付けることを目的とする。適性検査演習Ⅰで学習したそれぞれの分野を併せた総合問題を解くことにより、事務処理能力のさらなる向上を目指し、それを定着させ、事務官として職務を遂行することができる人材となることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	適性検査、性格検査問題演習 第1回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第31回	適性検査、性格検査問題演習 第31回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第2回	適性検査、性格検査問題演習 第2回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第32回	適性検査、性格検査問題演習 第32回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第3回	適性検査、性格検査問題演習 第3回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第33回	適性検査、性格検査問題演習 第33回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第4回	適性検査、性格検査問題演習 第4回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第34回	適性検査、性格検査問題演習 第34回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第5回	適性検査、性格検査問題演習 第5回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第35回	適性検査、性格検査問題演習 第35回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第6回	適性検査、性格検査問題演習 第6回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第36回	適性検査、性格検査問題演習 第36回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第7回	適性検査、性格検査問題演習 第7回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第37回	適性検査、性格検査問題演習 第37回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第8回	適性検査、性格検査問題演習 第8回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第38回	適性検査、性格検査問題演習 第38回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第9回	適性検査、性格検査問題演習 第9回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第39回	適性検査、性格検査問題演習 第39回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第10回	適性検査、性格検査問題演習 第10回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第40回	適性検査、性格検査問題演習 第40回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第11回	適性検査、性格検査問題演習 第11回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第41回	適性検査、性格検査問題演習 第41回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第12回	適性検査、性格検査問題演習 第12回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第42回	適性検査、性格検査問題演習 第42回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第13回	適性検査、性格検査問題演習 第13回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第43回	適性検査、性格検査問題演習 第43回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第14回	適性検査、性格検査問題演習 第14回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第44回	適性検査、性格検査問題演習 第44回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第15回	適性検査、性格検査問題演習 第15回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第45回	適性検査、性格検査問題演習 第45回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第16回	適性検査、性格検査問題演習 第16回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第46回	適性検査、性格検査問題演習 第46回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第17回	適性検査、性格検査問題演習 第17回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第47回	適性検査、性格検査問題演習 第47回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第18回	適性検査、性格検査問題演習 第18回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第48回	適性検査、性格検査問題演習 第48回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第19回	適性検査、性格検査問題演習 第19回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第49回	適性検査、性格検査問題演習 第49回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第20回	適性検査、性格検査問題演習 第20回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第50回	適性検査、性格検査問題演習 第50回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第21回	適性検査、性格検査問題演習 第21回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第51回	適性検査、性格検査問題演習 第51回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第22回	適性検査、性格検査問題演習 第22回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第52回	適性検査、性格検査問題演習 第52回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第23回	適性検査、性格検査問題演習 第23回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第53回	適性検査、性格検査問題演習 第53回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第24回	適性検査、性格検査問題演習 第24回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第54回	適性検査、性格検査問題演習 第54回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第25回	適性検査、性格検査問題演習 第25回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第55回	適性検査、性格検査問題演習 第55回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第26回	適性検査、性格検査問題演習 第26回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第56回	適性検査、性格検査問題演習 第56回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第27回	適性検査、性格検査問題演習 第27回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第57回	適性検査、性格検査問題演習 第57回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第28回	適性検査、性格検査問題演習 第28回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第58回	適性検査、性格検査問題演習 第58回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第29回	適性検査、性格検査問題演習 第29回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第59回	適性検査、性格検査問題演習 第59回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第30回	適性検査、性格検査問題演習 第30回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第60回	適性検査、性格検査問題演習 第60回	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

準備学習等	事前準備は不要だが、間違えた問題や時間内に解答できなかった問題の復習を行い、弱点克服に努めてほしい。
教科書 参考書等	TEXT適性試験、実戦問題集適性試験（大原出版） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。問題の自己採点ややり直しも時間に含み、授業1回あたり1時間を想定している。

016.商業簿記Ⅲ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	商業簿記Ⅲ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記の基本となる日々の取引の仕訳をできるようになること、決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを主な授業目的とする。最終的に全国経理教育協会主催簿記検定３級に合格するレベルの知識を身に付けることが到達目標となる。なお、簿記の練習問題を解くにあたり電卓を使用するため、電卓の基本的な操作方法についても授業に含む。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、簿記の目的、財政状態	大瀧 武史 今野 洸
第2回	簿記における電卓の使用について①	大瀧 武史 今野 洸
第3回	簿記における電卓の使用について②	大瀧 武史 今野 洸
第4回	損益計算書と貸借対照表の関係、経営状態、簿記一巡	大瀧 武史 今野 洸
第5回	取引、仕訳、勘定口座への記入方法、試算表	大瀧 武史 今野 洸
第6回	商品売買の記帳方法、３分法、売掛金と買掛金の記帳方法	大瀧 武史 今野 洸
第7回	返品と値引の記帳法、分記法、仕入諸掛および販売諸掛	大瀧 武史 今野 洸
第8回	手付金（内金）の記帳方法、商品券・他店商品券の記帳方法	大瀧 武史 今野 洸
第9回	簿記一巡（決算）	大瀧 武史 今野 洸

第10回	決算整理、繰越商品および仕入の決算整理	大瀧 武史 今野 洸
第11回	精算表	大瀧 武史 今野 洸
第12回	現金の記帳方法	大瀧 武史 今野 洸
第13回	当座預金の記帳方法、当座借越の記帳方法	大瀧 武史 今野 洸
第14回	手形の記帳方法	大瀧 武史 今野 洸
第15回	受取手形および売掛金の決算整理	大瀧 武史 今野 洸
第16回	現金過不足および現金の決算整理	大瀧 武史 今野 洸
第17回	有価証券、有形固定資産	大瀧 武史 今野 洸
第18回	債権及び債務、未収金および未払金の記帳方法	大瀧 武史 今野 洸
第19回	有形固定資産の決算整理	大瀧 武史 今野 洸
第20回	その他の勘定および訂正仕訳	大瀧 武史 今野 洸
第21回	手形貸付金および手形借入金の記帳方法、立替金および預り金の記帳方法	大瀧 武史 今野 洸
第22回	仮払金および仮受金の記帳方法、その他の収益および費用	大瀧 武史 今野 洸
第23回	資本金と税金	大瀧 武史 今野 洸
第24回	費用及び収益の決算整理	大瀧 武史 今野 洸
第25回	消耗品および消耗品費の決算整理、引出金の決算整理	大瀧 武史 今野 洸
第26回	訂正仕訳	大瀧 武史 今野 洸
第27回	損益計算書および貸借対照表①	大瀧 武史 今野 洸
第28回	損益計算書および貸借対照表②	大瀧 武史 今野 洸
第29回	主要簿と補助簿	大瀧 武史 今野 洸
第30回	現金出納帳および当座預金出納帳、小口現金出納帳	大瀧 武史 今野 洸

第31回	仕入帳・売上帳、売掛金元帳・買掛金元帳	大瀧 武史 今野 洸
第32回	商品有高帳	大瀧 武史 今野 洸
第33回	手形・手形記入帳	大瀧 武史 今野 洸
第34回	試算表の作成①	大瀧 武史 今野 洸
第35回	試算表の作成②	大瀧 武史 今野 洸
第36回	伝票、伝票会計	大瀧 武史 今野 洸
第37回	項目別対策　仕訳問題①	大瀧 武史 今野 洸
第38回	項目別対策　仕訳問題②	大瀧 武史 今野 洸
第39回	直前模擬試験①	大瀧 武史 今野 洸
第40回	直前模擬試験②	大瀧 武史 今野 洸
第41回	直前模擬試験③	大瀧 武史 今野 洸
第42回	直前模擬試験④	大瀧 武史 今野 洸
第43回	直前模擬試験⑤	大瀧 武史 今野 洸
第44回	直前模擬試験⑥	大瀧 武史 今野 洸
第45回	直前模擬試験⑦	大瀧 武史 今野 洸

準備学習等	予習は不要である。テキストはもちろんのこと、授業内で電卓を使用するため忘れずに持参すること。
教科書 参考書等	ＡＬＦＡ3級商業簿記テキスト・問題集・解答集、ステップアップ問題集、過去問題集（大原出版） 簿記能力検定試験 最新過去問題集（全国経理教育協会）、完全分類全経簿記3級商業簿記（英光社）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

017.公務員基礎知識Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ビジネス学科（２年課程）
学年	１学年・２学年

科目名	公務員基礎知識Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	4単位
科目教員	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員になるにあたって必要な知識である一般知識、一般知能分野の理解度を高めることを授業目的とする。模擬試験の実施を通して知識向上を目指し、それらが充分に身に付いた状態となることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	模擬試験、解説、やり直し①	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第24回	模擬試験、解説、やり直し㉔	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第2回	模擬試験、解説、やり直し②	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第25回	模擬試験、解説、やり直し㉕	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第3回	模擬試験、解説、やり直し③	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第26回	模擬試験、解説、やり直し㉖	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第4回	模擬試験、解説、やり直し④	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第27回	模擬試験、解説、やり直し㉗	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第5回	模擬試験、解説、やり直し⑤	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第28回	模擬試験、解説、やり直し㉘	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第6回	模擬試験、解説、やり直し⑥	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第29回	模擬試験、解説、やり直し㉙	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第7回	模擬試験、解説、やり直し⑦	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第30回	模擬試験、解説、やり直し㉚	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第8回	模擬試験、解説、やり直し⑧	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第31回	模擬試験、解説、やり直し㉛	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第9回	模擬試験、解説、やり直し⑨	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第32回	模擬試験、解説、やり直し㉜	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第10回	模擬試験、解説、やり直し⑩	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第33回	模擬試験、解説、やり直し㉝	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也

第11回	模擬試験、解説、やり直し⑪	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第34回	模擬試験、解説、やり直し㉞	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第12回	模擬試験、解説、やり直し⑫	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第35回	模擬試験、解説、やり直し㉟	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第13回	模擬試験、解説、やり直し⑬	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第36回	模擬試験、解説、やり直し㊱	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第14回	模擬試験、解説、やり直し⑭	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第37回	模擬試験、解説、やり直し㊲	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第15回	模擬試験、解説、やり直し⑮	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第38回	模擬試験、解説、やり直し㊳	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第16回	模擬試験、解説、やり直し⑯	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第39回	模擬試験、解説、やり直し㊴	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第17回	模擬試験、解説、やり直し⑰	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第40回	模擬試験、解説、やり直し㊵	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第18回	模擬試験、解説、やり直し⑱	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第41回	模擬試験、解説、やり直し㊶	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第19回	模擬試験、解説、やり直し⑲	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第42回	模擬試験、解説、やり直し㊷	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第20回	模擬試験、解説、やり直し⑳	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第43回	模擬試験、解説、やり直し㊸	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第21回	模擬試験、解説、やり直し㉑	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第44回	模擬試験、解説、やり直し㊹	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第22回	模擬試験、解説、やり直し㉒	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也	第45回	模擬試験、解説、やり直し㊺	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也
第23回	模擬試験、解説、やり直し㉓	大瀧 武史 今野 洸 佐々木 智也			

準備学習等	一般知識、一般知能の各分野について、自分で不足しているという自覚がある範囲はなるべく解決したうえで模擬試験に臨むこと。
教科書 参考書等	各種模擬試験（大原出版、実務教育出版）
備考	解説、やり直しの時間配分については、模擬試験ごとに実施時間が異なるためその日ごとに異なる。解説を聞いてもわからない部分があれば科目担当教員に必ず質問し疑問を取り除くこと。

018.基礎国語Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎国語Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	15回
科目教員	大瀧 武史 澁谷 知之	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験の受験に必要な文章理解・国語の基礎項目の習得を図り、基礎レベルの問題を確実に得点することを目的とする。文章理解においては、問題を解く際の基本的な考え方を理解した上で、例題レベルの問題を正しい解き方で正解できることを到達目標とする。国語については、漢字・ことわざ・四字熟語に関する問題が頻出である。そこで実際に問題を解き、わからない場合は自ら調べてプリントにまとめるなどをして、受験に必要な基本的知識を確実に身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	主旨・要旨把握問題①、漢字（基本レベル）①	大瀧 武史 澁谷 知之
第2回	主旨・要旨把握問題②、漢字（基本レベル）②	大瀧 武史 澁谷 知之
第3回	主旨・要旨把握問題③、漢字（基本レベル）③	大瀧 武史 澁谷 知之
第4回	主旨・要旨把握問題④、漢字（基本レベル）④	大瀧 武史 澁谷 知之
第5回	主旨・要旨把握問題⑤、漢字（基本レベル）⑤	大瀧 武史 澁谷 知之
第6回	主旨・要旨把握問題⑥、四字熟語（基本レベル）①	大瀧 武史 澁谷 知之
第7回	内容合致問題①、四字熟語（基本レベル）②	大瀧 武史 澁谷 知之
第8回	内容合致問題②、四字熟語（基本レベル）③	大瀧 武史 澁谷 知之
第9回	文章整序問題①、四字熟語（基本レベル）④	大瀧 武史 澁谷 知之

第10回	文章整序問題②、四字熟語（基本レベル）⑤	大瀧 武史 澁谷 知之
第11回	空欄補充問題①、ことわざ・故事成語（基本レベル）①	大瀧 武史 澁谷 知之
第12回	空欄補充問題②、ことわざ・故事成語（基本レベル）②	大瀧 武史 澁谷 知之
第13回	その他の問題①、ことわざ・故事成語（基本レベル）③	大瀧 武史 澁谷 知之
第14回	その他の問題②、ことわざ・故事成語（基本レベル）④	大瀧 武史 澁谷 知之
第15回	その他の問題③、ことわざ・故事成語（基本レベル）⑤	大瀧 武史 澁谷 知之

準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決して欲しい。
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎数的Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	45回
科目教員	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			

授業目的 到達目標	各種公務員教養試験で出題される分野である「数的推理」「判断推理・課題処理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。 「数的推理」分野では、問題の形式（パターン）を数多く理解し、解答をパターン化させて精度を上げる分野や、解法が複数存在する分野、自由な発想を必要とする分野がある。したがって、自ら思考し、判断して正答を導き出す力の養成を図る。 「判断推理・課題処理」分野では、様々な条件を書き上げたり、合成したり、性質ごとに分けたりといった作業を効率的に行う能力と論理的思考力の向上を図る。また、問題の内容をしっかりと把握するといった読解力の養成も重要である。 問題演習（基礎編）では、各分野の既習事項の定着を図るために、一般教養力検定の模擬試験等を実施する。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	数と文字式の計算（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第24回	論理（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第2回	方程式・不等式(1)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第25回	集合の要素(1)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第3回	方程式・不等式(2)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第26回	集合の要素(2)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第4回	方程式・不等式(3)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第27回	順序(1)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第5回	整数・計算パズル(1)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第28回	順序(2)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第6回	整数・計算パズル(2)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第29回	順序(3)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎

第7回	整数・計算パズル(3)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第30回	位置・方位(1)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第8回	割合と比(1)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第31回	位置・方位(2)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第9回	割合と比(2)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第32回	対応(1)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第10回	割合と比(3)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第33回	対応(2)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第11回	割合と比(4)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第34回	対応(3)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第12回	速さ(1)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第35回	勝敗（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第13回	速さ(2)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第36回	うそつき（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第14回	速さ(3)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第37回	暗号（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第15回	速さ(4)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第38回	推理・手順(1)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第16回	その他の文章題(1)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第39回	推理・手順(2)（判断推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第17回	その他の文章題(2)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第40回	問題演習（基礎編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第18回	場合の数(1)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第41回	問題演習（基礎編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第19回	場合の数(2)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第42回	問題演習（基礎編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第20回	場合の数(3)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第43回	問題演習（基礎編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第21回	場合の数(4)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第44回	問題演習（基礎編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第22回	確率(1)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第45回	問題演習（基礎編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第23回	確率(2)（数的推理編）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎			

準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験（大原出版）
備考	・習熟度の確認の為、定期的にウィークリーチェックテストを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会科学Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	45回
科目教員	佐々木　大貴 尾形　幸祐	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	社会系専門科目で学習するのは、政治である。本講義では政治の基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である国会・内閣、裁判所を中心に学習を進める。 最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	政治の基本概念①(政治と権力)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第24回	国会の機構と運営②(国会と議院の権能・議員の特権)	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第2回	政治の基本概念②(近代国家)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第25回	国会の機構と運営③ (衆議院の優越・国会の種類)	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第3回	政治制度論① (権力分立論・イギリス)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第26回	内閣の機構と運営① （議院内閣制と内閣の構成）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第4回	政治制度論② (日本・アメリカ)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第27回	内閣の機構と運営② （内閣総理大臣と内閣の権能）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第5回	政治過程論 (政党と政党制・選挙制度)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第28回	裁判所の機構と運営① （司法権の独立）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第6回	日本国憲法の特色① (大日本帝国憲法)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第29回	裁判所の機構と運営②（裁判のしくみと違憲立法審査権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第7回	日本国憲法の特色② (日本国憲法と三大原則)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第30回	財政(財政民主主義・租税法律主義・予算)	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第8回	基本的人権総論① (人権保障の歴史・人権の分類)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第31回	地方自治①(地方自治の意義・地方公共団体の機関と権能)	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第9回	基本的人権総論② (人権の享有・人権の限界)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第32回	地方自治②(住民の権利・地方自治の諸問題)	佐々木　大貴 尾形　幸祐

第10回	基本的人権総論③ (公共の福祉・国民の義務)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第33回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第11回	包括的基本権 (幸福追求権・新しい人権)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第34回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第12回	包括的基本権 (幸福追求権・新しい人権)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第35回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第13回	精神的自由権① (自由権の意義・思想良心の自由)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第36回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第14回	精神的自由権②　　(信教の自由・表現の自由・学問の自由)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第37回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第15回	経済的自由権①(経済的自由権の意義・職業選択と居住移転の自由)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第38回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第16回	経済的自由権②(財産権の保障)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第39回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第17回	人身の自由①(人身の自由の意義・適性手続の保障)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第40回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第18回	人身の自由② (被疑者及び被告人の権利)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第41回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第19回	社会権①(社会権の成立・生存権)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第42回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第20回	社会権②(教育を受ける権利・勤労の権利・労働基本権)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第43回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第21回	能動的権利と受益権 (能動的権利・受益権)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第44回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第22回	憲法改正の手続 (硬性憲法・憲法改正の手続)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第45回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第23回	国会の機構と運営① (国会の地位と機構)	佐々木　大貴 尾形　幸祐			

準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。
教科書 参考書等	テキスト　政治 (大原出版) 模擬試験(大原出版)
備考	・習熟度の確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

021.文書処理技能

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	文書処理技能	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	15回
科目教員	大庄司　文子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員	大庄司　文子		: %
			: %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁における処理システム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。
実務経験教員の実務経験内容	企業にて、OA機器インストラクション業務に従事。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。
授業目的 到達目標	社会人として必要なパソコンでの文書作成能力を養成することを目的とする。文書作成能力の養成においては知識や技能を習得するだけではなく将来関わるであろう業務の遂行を意識しながら、正確さや迅速さを追求した事務処理能力の向上を目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	文書作成ソフト（文字書式・拡張書式・段落書式）	大庄司　文子
第2回	文書作成ソフト（タブとリーダー・段組み・箇条書き）	大庄司　文子
第3回	文書作成ソフト（段落番号・ドロップキャップ・スタイル）	大庄司　文子
第4回	文書作成ソフト（ページ設定と印刷設定）	大庄司　文子
第5回	文書作成ソフト（テキスト編集・ヘッダーとフッター）	大庄司　文子
第6回	文書作成ソフト（表のデザインとレイアウト）	大庄司　文子
第7回	文書作成ソフト（オブジェクトの作成・図と図形の書式）	大庄司　文子
第8回	文書作成ソフト（配置と整列）	大庄司　文子

第9回	文書作成練習問題	大庄司　文子
第10回	文書作成練習問題	大庄司　文子
第11回	文書作成練習問題	大庄司　文子
第12回	文書作成練習問題	大庄司　文子
第13回	文書作成練習問題	大庄司　文子
第14回	文書作成練習問題	大庄司　文子
第15回	文書作成練習問題	大庄司　文子

準備学習等	基本的に予習は不要。各自の文書処理技能の習熟度に応じた自主的な演習の時間の確保が必要である。
教科書 参考書等	サーティファイWord文書処理技能認定試験問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。

022.コミュニケーション能力Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	コミュニケーション能力Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	松村匡　高橋航　尾形幸祐 佐々木大貴　比企湖太郎 澁谷知之	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	観点別評価　：　100　％
			：　％
			：　％
			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	社会人として必要なコミュニケーション能力の育成を目的とする。様々な視点から自己分析を行い、自己理解を深めることで豊かな自己表現ができる力を養成する。 また、社会問題（時事）研究と職種研究を並行して行いながら、自己分析とオーバーラップさせ様々な面接試験に幅広く対応できることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	自己分析の要領 自己分析シート作成①	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第16回	社会問題(時事)研究⑥	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第2回	自己分析シート作成②	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第17回	職種研究①	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第3回	自己分析シート作成③	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第18回	職種研究②	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第4回	自己分析シート作成④	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第19回	職種研究③	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第5回	自己分析シート作成⑤	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第20回	職種研究④	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第6回	自己分析シート作成⑥	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第21回	校外研修事前準備	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第7回	社会問題(時事)研究①	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第22回	校外研修事前準備	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第8回	社会問題(時事)研究②	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第23回	校外研修	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第9回	社会問題(時事)研究③	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第24回	校外研修	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之

第10回	面接想定シート作成①	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第25回	模擬面接(個人面接①)	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第11回	面接想定シート作成②	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第26回	模擬面接(個人面接②)	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第12回	面接想定シート作成③	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第27回	模擬面接(個人面接③)	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第13回	面接想定シート作成④	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第28回	模擬面接(集団討論①)	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第14回	社会問題(時事)研究④	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第29回	模擬面接(集団討論②)	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之
第15回	社会問題(時事)研究⑤	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之	第30回	スーツセミナー メイクセミナー	松村匡　高橋航 尾形幸祐　佐々木大貴 比企湖太郎　澁谷知之

準備学習等	基本的に予習は不要。各授業内で課題を課すことがある。
教科書 参考書等	就職ガイドブック（学校法人　大原学園） 就職ノートブック（学校法人　大原学園）
備考	評価の観点については、A「知識・技能」、B「思考・判断・表現」、C「修礼的に取り組む態度」の3項目である。評価の割合は、A40％、B30％、C30％とする。各項目の評価基準については、最初の授業で説明する。また、授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。

023.適性検査演習Ⅲ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	適性検査演習Ⅲ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	松村　匡　佐々木大貴　尾形　幸祐 高橋　航　比企　湖太郎　澁谷　知之	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	適性検査演習Ⅰで身に付けた適性検査の基礎的な知識・技能を生かし、さらなる応用力の養成を図る。また、社会問題研究により課題の解決法など自ら考察する力の養成を目的とする。適性検査については、適性検査の複数の試験形式や特徴に関するさらなる理解とその発展問題における習熟度の向上を目的とする。また、社会問題研究により時事に関する様々な知識を蓄積させ、その問題の本質について考察し、自らの言葉で表現する力の涵養を目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第16回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第2回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第17回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第3回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第18回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第4回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第19回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第5回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第20回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第6回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第21回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第7回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第22回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第8回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第23回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之

第9回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第24回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第10回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第25回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第11回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第26回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第12回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第27回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第13回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第28回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第14回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第29回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第15回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第30回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之

準備学習等	基本的に予習は不要。適性検査のスキルアップの為には、問題演習後に誤答分析を行い、その都度復習することが必要である。
教科書 参考書等	ＴＥＸＴ適性試験、公務員ガイドブック（大原出版） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎国語Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	15回
科目教員	大瀧　武史 澁谷　知之	成績評価方法	筆記試験　：　70　％
			平常点　：　30　％
			：　％
科目教員のうち実務経験教員			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験の受験に必要な文章理解、国語の基本的問題を確実に得点できる能力の習得を目的とする。文章理解においては、基礎国語Ⅰで習得した、「問題を解く際の正しい考え方」を前提に、様々なパターンの問題を解き、パターン別の解き方のコツを掴み、受験時における基礎レベルの問題を確実に得点できるようにすることを到達目標とする。また、国語の分野で出題される漢字・ことわざ・四字熟語などについては、実際に問題を解き、わからない場合は自ら調べてプリントにまとめるなどをして、基礎国語Ⅰで学んだ以上の知識を身につけることを到達目標とする。さらにこの科目では、公務員試験で実施される作文試験の対策も行う。授業では、採点のポイント、原稿用紙の使い方、表現における注意点、作文構成の方法などの基本事項を理解させ、作文作成の下地作りを目的とする。それを踏まえて作文試験における各採点基準の最低基準をクリアした作文を作成できるようになることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	主旨・要旨把握問題(練習問題）①、漢字（標準レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第2回	主旨・要旨把握問題(練習問題）②、漢字（標準レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第3回	主旨・要旨把握問題(練習問題）③、漢字（標準レベル）③	大瀧　武史 澁谷　知之
第4回	主旨・要旨把握問題(練習問題）④、漢字（標準レベル）④	大瀧　武史 澁谷　知之
第5回	主旨・要旨把握問題(練習問題）⑤、漢字（標準レベル）⑤	大瀧　武史 澁谷　知之

第6回	内容合致問題(練習問題）①、四字熟語（標準レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第7回	内容合致問題(練習問題）②、四字熟語（標準レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第8回	文章整序問題(練習問題）①、四字熟語（標準レベル）③	大瀧　武史 澁谷　知之
第9回	文章整序問題(練習問題）②、四字熟語（標準レベル）④	大瀧　武史 澁谷　知之
第10回	空欄補充問題(練習問題）①、ことわざ・故事成語（標準レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第11回	空欄補充問題(練習問題）②、ことわざ・故事成語（標準レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第12回	その他の問題(練習問題）①、ことわざ・故事成語（標準レベル）③	大瀧　武史 澁谷　知之
第13回	その他の問題(練習問題）②、ことわざ・故事成語（標準レベル）④	大瀧　武史 澁谷　知之
第14回	作文入門	大瀧　武史 澁谷　知之
第15回	作文作成	大瀧　武史 澁谷　知之

準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決して欲しい。
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、 模擬試験（大原出版）、最新最強のSPIクリア問題集、最新最強の適性検査クリア問題集（成美堂出版）、国語辞典もしくは電子辞書
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎数的Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	45回
科目教員	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	成績評価方法	筆記試験 ： 70 ％
			平常点 ： 30 ％
			： ％
科目教員のうち実務経験教員			： ％
			： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			

授業目的 到達目標	各種公務員教養試験で出題される分野である「平面図形・空間把握」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成する。その後、公務員試験に必要な数的処理の各分野（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握）について、基礎数的Ⅰ及び本科目で学習した基礎知識の定着と学力のさらなる向上を目指し、より難易度の高い問題から正答を導き出す力を養成する。 本科目で学習する分野においては、公式の理解に留まらず、正多面体の性質や平面図形の回転の軌跡、立体の切断面など、空間把握・表象能力の養成を図る。 問題演習（応用編）では、基礎数的Ⅰ及び本科目で学んだ全ての範囲（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握）について、応用力を養うために一般教養力検定の模擬試験等を実施する。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	平面図形の計量(1)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第24回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第2回	平面図形の計量(2)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第25回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第3回	平面図形の計量(3)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第26回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第4回	平面図形の計量(4)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第27回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第5回	平面図形の計量(5)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第28回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎

第6回	平面図形の計量(6)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第29回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第7回	平面図形の計量(7)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第30回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第8回	平面図形の計量(8)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第31回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第9回	立体図形の計量(1)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第32回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第10回	立体図形の計量(2)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第33回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第11回	立体図形の計量(3)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第34回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第12回	回転と軌跡(1)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第35回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第13回	回転と軌跡(2)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第36回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第14回	道順・一筆書き・位相 （図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第37回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第15回	平面構成(1)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第38回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第16回	平面構成(2)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第39回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第17回	平面構成(3)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第40回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第18回	正多面体・展開図(1) （図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第41回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第19回	正多面体・展開図(2) （図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第42回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第20回	立体構成(1)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第43回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第21回	立体構成(2)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第44回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第22回	立体構成(3)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第45回	問題演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第23回	立体構成(4)（図形編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎			

準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験（大原出版）

備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックテストを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

026.社会科学Ⅱ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会科学Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	45回
科目教員	佐々木　大貴 尾形　幸祐	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	社会系専門科目で学習するのは、政治・経済・社会である。本講義では経済・社会では基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である金融政策・財政政策、社会保障制度や医療保険制度を中心に学習を進める。政治では、公務員試験の頻出傾向の高い分野を中心に復習し、更なる理解の向上になるように学習を進める。 最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	経済社会の変容 (経済社会のしくみ)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第24回	若年者の雇用と失業問題	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第2回	経済体制 (経済体制・経済理論)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第25回	社会保障制度の形成（イギリス・ドイツ・アメリカ）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第3回	現代の企業①(企業の形態)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第26回	日本の社会保障制度	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第4回	現代の企業②(企業の巨大化・中小企業の現状)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第27回	社会保障の状況（少子・高齢化問題）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第5回	現代の市場①(市場メカニズム)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第28回	医療保険制度・年金制度の改革	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第6回	現代の市場②(寡占市場・市場の失敗)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第29回	日本の環境問題（公害対策・環境対策）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第7回	国民所得(国民所得と国富・国民経済計算)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第30回	地球環境問題（環境汚染・環境破壊）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第8回	経済成長と景気循環① (経済成長・景気循環)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第31回	環境破壊防止の国際的枠組み	佐々木　大貴 尾形　幸祐

第9回	経済成長と景気循環②(インフレーションとデフレーション)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第32回	国際社会と国際法	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第10回	通貨制度と金融政策① (通貨制度・金融制度)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第33回	国際組織（国際連盟・国際連合）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第11回	通貨制度と金融政策②(信用創造・日本銀行の役割と金融政策)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第34回	政治の基本概念、政治制度論	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第12回	財政制度と財政政策(財政の役割・財政制度・財政政策)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第35回	日本国憲法の特色	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第13回	貿易と外国為替① (国際分業と貿易)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第36回	基本的人権① （包括的基本権、平等権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第14回	貿易と外国為替②(国際収支・外国為替と為替相場)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第37回	基本的人権②（自由権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第15回	日本経済の動向①(戦後の経済民主化と復興・高度経済成長・石油危機)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第38回	基本的人権③ （社会権、受益権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第16回	日本経済の動向②(産業構造の転換・現代の諸問題)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第39回	国会の機構と運営	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第17回	国際経済の動向①(国際通貨と金融体制・貿易の自由化)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第40回	内閣の機構と運営	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第18回	国際経済の動向②(地域的経済統合と経済協力・国際経済の課題)	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第41回	裁判所の機構と運営	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第19回	社会集団 （組織集団と非組織集団）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第42回	地方自治	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第20回	大衆社会と日本文化論	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第43回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第21回	防衛機制と青年期のパーソナリティ	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第44回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第22回	労働三法と近代の労働法規	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第45回	問題演習（基礎編）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第23回	雇用と失業・女性の労働事情	佐々木　大貴 尾形　幸祐			

準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。
教科書 参考書等	テキスト　政治 (大原出版)　経済 (大原出版)　社会 (大原出版)　模擬試験(大原出版)
備考	・習熟度の確認の為、定期的にウィークリーチェックテストを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

027.応用国語演習Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	応用国語演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	大瀧　武史 澁谷　知之	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	基礎国語Ⅰおよび基礎国語Ⅱにて身につけた基礎力をベースに、公務員試験において合格者の大半が得点するであろう標準レベルの問題に取り組んでもらい、確実に得点できるような能力の習得を目的とする。文章理解においては、標準レベルの問題となるとさらに多くのテクニックが必要となってくる。したがって、様々な問題に取り組む中でそれを学び、使いこなせるようにし、標準レベルの問題を確実に解けるようにすることを到達目標とする。国語においては、漢字・四字熟語・ことわざ・故事成語の他に、文学史・文法・敬語の問題に対応するための知識の定着を目的とする。テキストで重要項目を理解した上で問題を解き、基本的知識を確実に習得できるようにすることを到達目標とする。また、漢字・四字熟語・ことわざ・故事成語については、問題を解き、それまで学んできた以上の知識を身につけることを到達目標とする。さらに、基礎国語Ⅱに引き続き作文対策も行う。様々なテーマに対応できるようにするため、テーマごとに何をどういう順番で書くかを考える能力を習得させることを目的とする。各採点基準をすべてクリアできるような答案を書けるようになることが到達目標となる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	主旨・要旨把握問題(標準レベル）①、文学史（基本レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第2回	主旨・要旨把握問題(標準レベル）②、文学史（基本レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第3回	主旨・要旨把握問題(標準レベル）③、文学史（基本レベル）③	大瀧　武史 澁谷　知之
第4回	主旨・要旨把握問題(標準レベル）④、文学史（基本レベル）④	大瀧　武史 澁谷　知之

第5回	主旨・要旨把握問題(標準レベル）⑤、文法・敬語（基本レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第6回	内容合致問題(標準レベル）①、文法・敬語（基本レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第7回	内容合致問題(標準レベル）②、漢字（応用レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第8回	文章整序問題(標準レベル）①、漢字（応用レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第9回	文章整序問題(標準レベル）②、四字熟語（応用レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第10回	空欄補充問題(標準レベル）①、四字熟語（応用レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第11回	空欄補充問題(標準レベル）②、ことわざ・故事成語（応用レベル）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第12回	その他の問題(標準レベル）①、ことわざ・故事成語（応用レベル）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第13回	その他の問題(標準レベル）②、ことわざ・故事成語（応用レベル）③	大瀧　武史 澁谷　知之
第14回	作文作成①	大瀧　武史 澁谷　知之
第15回	作文作成②	大瀧　武史 澁谷　知之

準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決して欲しい。
教科書 参考書等	スタンダード問題集文章理解、テキスト国語、テキスト論作文対策、 模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。

028.応用数的演習Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	応用数的演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	授業回数	60回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	各種公務員教養試験で出題される分野である「資料解釈」について、資料のデータから各選択肢の正当性を導き出すために必要となる読解力・解析力を養成することを目的とする。その後、公務員試験に出題される数的処理の各分野（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握、資料解釈）について、実際の公務員試験の過去問レベルの問題から解答を導き出す応用力を養う。 過去問演習（応用編）では、「数的推理」「判断推理・課題処理」「平面図形・空間把握」「資料解釈」（以下、全範囲という。）の各分野から実際に公務員試験に出題された基礎的な問題の解答を導き出す力を養成する。 過去問演習（発展編）では、公務員試験に出題された標準的な難易度の問題を扱い、より柔軟な応用力を養成する。 過去問演習（完成編）では、本試験の出題傾向を分析し、基礎的な事項の習得が確認できる問題や本試験と同レベルの問題を厳選して収録したスタンダード問題集を用いて、数的処理に関するより高い学力の完成を目指す。 他分野と比較してこれまで問題演習が少なかった「資料解釈」分野については、上記過去問演習を通して、多種多様な統計資料についての分析力の完成を目指す。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	資料解釈(1)	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第31回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第2回	資料解釈(2)	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第32回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第3回	資料解釈(3)	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第33回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎

第4回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第34回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第5回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第35回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第6回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第36回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第7回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第37回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第8回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第38回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第9回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第39回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第10回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第40回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第11回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第41回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第12回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第42回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第13回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第43回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第14回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第44回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第15回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第45回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第16回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第46回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第17回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第47回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第18回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第48回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第19回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第49回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第20回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第50回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第21回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第51回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第22回	数的処理過去問演習（応用編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第52回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第23回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第53回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第24回	数的処理過去問演習（発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第54回	数的処理過去問演習（完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎

第25回	数的処理過去問演習 （発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第55回	数的処理過去問演習 （完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第26回	数的処理過去問演習 （発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第56回	数的処理過去問演習 （完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第27回	数的処理過去問演習 （発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第57回	数的処理過去問演習 （完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第28回	数的処理過去問演習 （発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第58回	数的処理過去問演習 （完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第29回	数的処理過去問演習 （発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第59回	数的処理過去問演習 （完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎
第30回	数的処理過去問演習 （発展編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎	第60回	数的処理過去問演習 （完成編）	前田幸仁　松村匡 高橋航　比企湖太郎

準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、補助プリント、スタンダード問題集・解答解説（大原出版）
備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックテストを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

029.社会科学演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会科学演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	佐々木　大貴 尾形　幸祐	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、社会科学Ⅰや社会科学Ⅱの授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、理解を深めていく。到達目標としては、公務員試験で実施される教養試験において合格レベルに到達することである。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	過去問演習（政治の基本概念）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第16回	過去問演習（経済成長と景気循環）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第2回	過去問演習（日本国憲法の特色）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第17回	過去問演習　（インフレーションとデフレーション）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第3回	過去問演習（幸福追求権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第18回	過去問演習（通貨制度と金融制度）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第4回	過去問演習（自由権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第19回	過去問演習（財政制度と財政政策）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第5回	過去問演習（社会権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第20回	過去問演習（貿易と外国為替）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第6回	過去問演習（能動的権利・受益権）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第21回	過去問演習（日本経済の動向）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第7回	過去問演習（憲法改正の手続き）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第22回	過去問演習（国際経済の動向）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第8回	過去問演習（国会の機構と運営）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第23回	過去問演習（社会集団と社会変動）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第9回	過去問演習（内閣の機構と運営）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第24回	過去問演習（労働法規と労働問題）	佐々木　大貴 尾形　幸祐

第10回	過去問演習（裁判所の機構と運営）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第25回	過去問演習（日本の社会保障制度）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第11回	過去問演習（地方自治）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第26回	過去問演習 （医療保険制度・年金制度）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第12回	過去問演習（経済社会のしくみ）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第27回	過去問演習（日本の環境問題）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第13回	過去問演習（企業の形態）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第28回	過去問演習（環境汚染・環境破壊）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第14回	過去問演習（市場メカニズム）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第29回	過去問演習（国際社会と国際法）	佐々木　大貴 尾形　幸祐
第15回	過去問演習（国民所得と国富）	佐々木　大貴 尾形　幸祐	第30回	過去問演習（国際連盟・国際連合）	佐々木　大貴 尾形　幸祐

準備学習等	講義開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。
教科書 参考書等	テキスト　政治（大原出版）、テキスト　経済（大原出版）、 テキスト社会（大原出版）、スタンダード問題集　社会科学（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	1学年

科目名	人文科学Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	吉沢　康太 蜂谷　志穂	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般教養としての歴史（日本史・世界史）についての知識を習得することを目的とする。公務員試験における教養試験にも出題される科目の為、ウィークリーチェックで日々の習熟度を確認し、最終的には公務員試験レベルの問題を解けるようになることを到達目標として学習をすすめる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	【日本史】ガイダンス、 古代①　原始　先土器・縄文・弥生時代・大和政権・聖徳太子・大化の改新・律令制度	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第2回	【日本史】古代②　律令制度・班田収授法・租庸調・初期荘園	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第3回	【日本史】古代③　律令政治の再建・摂関政治・寄進地系荘園・武士の起こり・院政	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第4回	【日本史】中世①　源平の争乱・鎌倉幕府の成立・執権政治	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第5回	【日本史】中世②　元寇・鎌倉幕府の衰退・室町幕府の成立・日明貿易・戦国時代	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第6回	【日本史】近世①　織豊政権・南蛮貿易・太閤検地・江戸幕府の成立・ 幕藩体制・鎖国政策	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第7回	【日本史】近世②　文治政治・正徳の治・享保の改革・田沼政治・ 寛政の改革・大御所時代・天保の改革	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第8回	【日本史】近代①　幕末・明治維新・明治初期の外交・自由民権運動・日清戦争・日露戦争	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第9回	【日本史】近代②　第一次世界大戦・大正デモクラシー・政党内閣・満州事変・第二次世界大戦	吉沢　康太 蜂谷　志穂

第10回	【日本史】現代　　戦後の民主化・朝鮮戦争・国際社会への復帰・戦後の内閣	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第11回	【日本史】文化史①　飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化・国風文化・院政期の文化	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第12回	【日本史】文化史②　鎌倉文化・南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化・寛永文化・元禄文化・化政文化・明治期の文化	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第13回	【世界史】東洋史①　殷・周・春秋戦国・秦・前漢・新・後漢	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第14回	【世界史】東洋史②　魏・晋・南北朝・隋・唐・宋	吉沢　康太 蜂谷　志穂
第15回	【世界史】東洋史③　元・明・清・清末	吉沢　康太 蜂谷　志穂

準備学習等	講義開始までに各自ノートを用意しておいてください。 各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。
教科書 参考書等	日本史 テキスト・レジュメ・ドリル、世界史 テキスト・レジュメ・ドリル・スタンダード問題集　人文科学（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

031.人文科学Ⅱ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	人文科学Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	尾形　幸祐	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である地理について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業において更なる知識の習熟を目指す。日本のみならず世界情勢についても理解を深め、最終的には公務員試験一次試験を合格できる知識を身につけることを到達目標としている。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	世界の地形	尾形　幸祐
第2回	平野と海岸の地形	尾形　幸祐
第3回	特殊な地形と海洋	尾形　幸祐
第4回	世界の気候・植生・土壌	尾形　幸祐
第5回	気候区分	尾形　幸祐
第6回	ハイサーグラフ・地図の特色と利用	尾形　幸祐
第7回	アジア・ヨーロッパの農牧業	尾形　幸祐
第8回	アメリカの農牧業・世界の漁場	尾形　幸祐
第9回	エネルギー資源と原料資源	尾形　幸祐

第10回	世界の工業地域（ヨーロッパ）	尾形　幸祐
第11回	世界の工業地域（アメリカ・中国）	尾形　幸祐
第12回	生活と地域	尾形　幸祐
第13回	日本の地理（国土・気候・海流）	尾形　幸祐
第14回	日本の地理（農業・漁業・工業）	尾形　幸祐
第15回	日本の地理（諸地域）	尾形　幸祐

準備学習等	日々の復習による知識の定着を勧める。公務員試験合格のためには重要な科目となっているため、日々の授業や復習に努めてほしい。
教科書 参考書等	地理　テキスト・ドリル（大原出版）、新詳高等地図（帝国書院）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

032.適性検査演習Ⅳ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	適性検査演習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	松村　匡　佐々木大貴　尾形　幸祐 高橋　航　比企　湖太郎　澁谷　知之	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	観点別評価　：　100　％
			：　％
			：　％
			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	適性検査演習Ⅰで身に付けた適性検査の基礎的な知識・技能を生かし、さらなる応用力の養成を図る。また、社会問題研究により課題の解決法など自ら考察する力の養成を目的とする。適性検査については、適性検査の複数の試験形式や特徴に関するさらなる理解とその発展問題における習熟度の向上を目標とする。また、社会問題研究により時事に関する様々な知識を蓄積させ、その問題の本質について考察し、自らの言葉で表現する力の涵養を目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第16回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第2回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第17回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第3回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第18回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第4回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第19回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第5回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第20回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第6回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第21回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第7回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第22回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第8回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第23回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之

第9回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第24回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第10回	適性検査、性格検査問題演習	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第25回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第11回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第26回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第12回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第27回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第13回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第28回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第14回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第29回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之
第15回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之	第30回	社会問題研究・ディスカッション	松村匡　佐々木大貴 尾形幸祐　高橋　航 比企湖太郎　澁谷知之

準備学習等	基本的に予習は不要。適性検査のスキルアップの為には、問題演習後に誤答分析を行い、その都度復習することが必要である。
教科書 参考書等	ＴＥＸＴ適性試験、公務員ガイドブック（大原出版） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）
備考	評価の観点については、A「知識・技能」、B「思考・判断・表現」、C「主体的に取り組む態度」の3項目である。評価の割合は、A40%、B30%、C30%とする。各項目の評価規準については、最初の授業で説明する。また、授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

033.基礎国語演習Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程） 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎国語演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	大瀧　武史 澁谷　知之	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	レポート　：　70　％
			平常点　：　30　％
			：　％
			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験の受験科目である論作文の対策を実施する。採点のポイント、原稿用紙の使い方、表現における注意点、構成の方法などの基本事項を理解させることを目的とする。そして様々なテーマにおいて構想シートを作成させ、合格答案を作成できる能力を身に付けることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	論作文入門	大瀧　武史 澁谷　知之
第2回	論作文作成（自身の経験談）①	大瀧　武史 澁谷　知之
第3回	論作文作成（自身の経験談）②	大瀧　武史 澁谷　知之
第4回	論作文作成（自身の経験談）③	大瀧　武史 澁谷　知之
第5回	論作文作成（自身の経験談）④	大瀧　武史 澁谷　知之
第6回	論作文作成（人口問題）	大瀧　武史 澁谷　知之
第7回	論作文作成（地域問題）	大瀧　武史 澁谷　知之
第8回	論作文作成（社会福祉）	大瀧　武史 澁谷　知之
第9回	論作文作成（教育問題）	大瀧　武史 澁谷　知之

第10回	論作文作成（健康促進・スポーツ）	大瀧　武史 澁谷　知之
第11回	論作文作成（経済問題）	大瀧　武史 澁谷　知之
第12回	論作文作成（環境問題）	大瀧　武史 澁谷　知之
第13回	論作文作成（労働問題）	大瀧　武史 澁谷　知之
第14回	論作文作成（ビジネス問題）	大瀧　武史 澁谷　知之
第15回	論作文作成（科学・医療問題）	大瀧　武史 澁谷　知之

準備学習等	論作文の学習は日々の積み重ねが大切である。うまく書けなかったテーマを中心に復習をしっかりと行い、改善点が不明な場合は教員に質問をして解決してほしい。
教科書 参考書等	テキスト論作文対策（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書
備考	授業計画の各回の内容等については、理解度や進捗状況に応じて、一部変更する場合がある。また、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。

034.基礎数的演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎数的演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	30回
科目教員	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	成績評価方法	筆記試験 ： 70 ％
			平常点 ： 30 ％
			： ％
科目教員のうち実務経験教員			： ％
			： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験(教養試験)の出題分野である数的処理（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握、資料解釈）について、上級試験レベルの問題を解答する力を養うことを目的とする。 本試験の出題傾向を分析し、演習問題を厳選したテキスト、実戦問題集を用いて、数的処理に関するより高い学力の完成を目指す。具体的には、国家一般職大卒程度、国税専門官、裁判所一般職大卒程度、地方上級・中級の各試験において出題された過去問題の演習を行う。 最終目標としては，国家一般職大卒程度、地方上級、警察官・消防官（上級）試験で実施される教養試験において合格レベルに到達することである。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	整数 （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第16回	うそつき （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第2回	割合と比 （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第17回	暗号 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第3回	方程式・不等式 （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第18回	推理・手順 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第4回	速さ （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第19回	回転と軌跡 （図形）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第5回	数列 （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第20回	道順・一筆書き・位相 （図形）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第6回	計算パズル （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第21回	平面構成 （図形）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第7回	場合の数 （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第22回	正多面体 （図形）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎

第8回	確率 （数的推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第23回	展開図 （図形）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第9回	資料解釈	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第24回	立体構成 （図形）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第10回	論理 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第25回	図形の計量 （図形）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第11回	集合の要素 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第26回	国家一般職大卒程度 総合問題演習（1）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第12回	順序 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第27回	国家一般職大卒程度 総合問題演習（2）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第13回	位置・方位 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第28回	国税専門官 総合問題演習	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第14回	対応 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第29回	裁判所一般職大卒程度 総合問題演習	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎
第15回	勝敗 （判断推理）	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎	第30回	地方上級・中級 総合問題演習	前田幸仁　松村　匡 高橋航　比企湖太郎

準備学習等	応用力の養成には、数多くの問題を解くことが必要である。そのため、授業の中で解説のできなかった問題については、授業の予習・復習（自学自習）の中で補うことが必要である。
教科書 参考書等	テキスト　数的処理AⅠ（判断推理）・数的処理AⅡ（図形）・数的処理AⅢ（数的推理・資料解釈）　（大原出版） 実戦問題集　数的処理AⅠ（判断推理）・数的処理AⅡ（図形）・数的処理AⅢ（数的処理・資料解釈）　（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

035.憲法概論

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	憲法概論	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	青柳　清貴	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	法律系専門科目で最初に学習するのが、憲法である。本講義では法律の完全初心者が、憲法を通じて基本的な法律用語、法理論などを習得し、公務員試験の出題傾向である憲法判例を中心とした問題に対応できる力を養うことを目的とする。また、公務員試験に出題される射程内に入った新判例についても適宜紹介し、知識の幅を広げることにも留意する。さらに憲法を学んだあとに学ぶ民法や行政法の授業をスムーズに始められるよう法的思考方法を培うことも併せて到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	憲法総説（立憲主義の歴史、憲法の分類、憲法の特質）	青柳　清貴
第2回	日本国憲法総説（日本の憲法史、日本国憲法と明治憲法の対比）	青柳　清貴
第3回	法の支配と法治主義、さまざまな国家観	青柳　清貴
第4回	国民主権（権力性の契機と正当性の契機）、天皇制、平和主義	青柳　清貴
第5回	憲法総説のまとめ	青柳　清貴
第6回	人権総論（人権の分類、享有主体、性質、人権保障の形態）	青柳　清貴
第7回	人権保障の限界、公務員の人権、在監者の人権、私人間効力	青柳　清貴
第8回	人権各論①法の下の平等、幸福追求権と新しい人権、思想・良心の自由	青柳　清貴

第9回	人権各論②信教の自由、学問の自由、表現の自由総論	青柳　清貴
第10回	人権各論③表現の自由（知る権利、アクセス権、集団行動の自由、検閲）	青柳　清貴
第11回	人権各論④表現の自由に対する規制、職業選択の自由	青柳　清貴
第12回	人権各論⑤居住・移転の自由、財産権の保障	青柳　清貴
第13回	人権各論⑥人身の自由（適正手続きの保障、被疑者・被告人の権利）	青柳　清貴
第14回	人権各論⑦生存権、教育を受ける権利、労働基本権	青柳　清貴
第15回	人権各論⑧参政権、請願権、裁判を受ける権利	青柳　清貴
第16回	人権各論⑨国家賠償請求権、刑事補償請求権、国民の義務	青柳　清貴
第17回	人権のまとめ	青柳　清貴
第18回	統治機構総論、三権分立、立法権総論	青柳　清貴
第19回	国会の地位・構成・活動、衆議院の優越	青柳　清貴
第20回	選挙と政党、国会議員の特権、国会・各議院の権能	青柳　清貴
第21回	国政調査権（行使方法と限界）、行政権総論	青柳　清貴
第22回	議院内閣制、独立行政委員会、内閣の組織	青柳　清貴
第23回	内閣総理大臣の地位と権能、内閣の権能と責任	青柳　清貴
第24回	司法権総論、司法権の限界、裁判所の構成と権能	青柳　清貴
第25回	国民審査、最高裁判所と下級裁判所、違憲審査制、裁判の諸原則	青柳　清貴
第26回	司法権の独立、財政総論	青柳　清貴
第27回	財政民主主義、租税法律主義	青柳　清貴
第28回	予算の法的性質、予備費、決算	青柳　清貴
第29回	地方自治総論、地方公共団体の組織・権能、条例と法律の関係、憲法改正	青柳　清貴

第30回	統治のまとめ、憲法全体の総まとめ	青柳　清貴
準備学習等	短期間で憲法の人権、統治を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト憲法（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

036.憲法演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	憲法演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	青柳　清貴	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、憲法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。また、適宜国家総合職の問題も扱うことで、昨今の公務員試験の難化傾向に対応できるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	憲法人権正誤問題①	青柳　清貴
第2回	憲法人権正誤問題②	青柳　清貴
第3回	日本国憲法総論五択演習	青柳　清貴
第4回	人権総論五択演習	青柳　清貴
第5回	基本的人権の限界五択演習	青柳　清貴
第6回	幸福追求権と新しい人権五択演習	青柳　清貴
第7回	法の下の平等五択演習	青柳　清貴
第8回	思想良心の自由、信教の自由五択演習	青柳　清貴

第9回	学問の自由五択演習	青柳　清貴
第10回	表現の自由五択演習①	青柳　清貴
第11回	表現の自由五択演習②	青柳　清貴
第12回	居住・移転の自由五択演習	青柳　清貴
第13回	職業選択の自由五択演習①	青柳　清貴
第14回	職業選択の自由五択演習②	青柳　清貴
第15回	財産権の保障五択演習	青柳　清貴
第16回	人身の自由五択演習	青柳　清貴
第17回	社会権、受益権五択演習	青柳　清貴
第18回	憲法統治正誤問題①	青柳　清貴
第19回	憲法統治正誤問題②	青柳　清貴
第20回	国会五択演習①	青柳　清貴
第21回	国会五択演習②	青柳　清貴
第22回	国会五択演習③	青柳　清貴
第23回	内閣五択演習①	青柳　清貴
第24回	内閣五択演習②	青柳　清貴
第25回	裁判所五択演習①	青柳　清貴
第26回	裁判所五択演習②	青柳　清貴
第27回	財政・予算五択演習	青柳　清貴
第28回	地方自治・憲法改正五択演習	青柳　清貴
第29回	総合職問題演習①	青柳　清貴

第30回	総合職問題演習②	青柳　清貴

準備学習等	過去問は受験対策上最良の問題集であると言われる。そのため何を理解し、何を理解できていないかを常に意識して問題演習に臨み、繰り返し解くよう復習に力を入れて欲しい。また、些細な疑問点についても放置せず、教員に質問しその日のうちに解決するよう努めてもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト憲法（大原出版）、実戦問題集憲法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	民法概論	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	青柳　清貴	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	法律系専門科目で公務員試験の合否を握る最大の科目といわれるのが、民法である。1000条を優に超える民法の学習は容易ではないが、方法さえ間違わなければ公務員受験生の強力な武器になりうる。この方法とは問題文を読んで何を問われているかを把握し、必要な情報を抽出し、その関係を視覚的な図に表し、条文を当てはめて考えることである。本講義はこの方法を身につけるための「訓練の場」であると位置づけ、常に具体例を挙げつつ授業を行う。その上で、特に教員から指示がなくても自らの力でこの方法を実践できるようにすることを到達目標とする。なお、学習内容が膨大なものとなるため、息切れすることがないよう適宜小テストを実施する予定である。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	民法総論①（民法とは、静的安全と動的安全の観点、民法の諸原則）	青柳　清貴
第2回	民法総論②（民法改正の概説、私法と公法、民法の構造）	青柳　清貴
第3回	民法総論③（一般法と特別法、信義則、権利濫用の法理）	青柳　清貴
第4回	民法総論まとめ	青柳　清貴
第5回	総則①自然人（民法上のさまざまな能力、制限能力者制度）	青柳　清貴
第6回	総則②自然人（胎児の地位、失踪宣告）、物について	青柳　清貴
第7回	総則③法人（法人学説、一般法人法、法人の不法行為）	青柳　清貴

第8回	総則④法律行為（法律要件と法律効果、契約・合同行為・単独行為）	青柳　清貴
第9回	総則⑤意思表示（心裡留保、虚偽表示、錯誤、詐欺、強迫）	青柳　清貴
第10回	総則⑥無効と取消し、代理（代理人、代理行為、無権代理）	青柳　清貴
第11回	総則⑦表見代理、条件と期限	青柳　清貴
第12回	総則⑧時効（時効の効力、時効学説、取得時効と消滅時効、更新と完成猶予）	青柳　清貴
第13回	総則まとめ	青柳　清貴
第14回	物権①物権総論（物権法定主義、一物一権主義、物権の分類）	青柳　清貴
第15回	物権②不動産物権変動（登記、背信的悪意者、相続と登記、時効と登記）	青柳　清貴
第16回	物権③動産物権変動（引渡しの形態、即時取得）	青柳　清貴
第17回	物権④占有権と所有権（相隣関係、原始取得、共有）	青柳　清貴
第18回	物権⑤用益物権（地上権と地役権）	青柳　清貴
第19回	物権まとめ	青柳　清貴
第20回	債権①債権総論（債権とは、物権との相違点、契約自由の原則）	青柳　清貴
第21回	債権②選択債権、履行の強制、債務不履行（要件と効果）	青柳　清貴
第22回	債権③受領遅滞、債権者代位権	青柳　清貴
第23回	債権④債権者代位権の転用	青柳　清貴
第24回	債権⑤詐害行為取消権	青柳　清貴
第25回	債権⑥債権譲渡	青柳　清貴
第26回	債権⑦債権の消滅（弁済、代物弁済、混同、免除、相殺）	青柳　清貴
第27回	債権⑧多数当事者の債権債務関係	青柳　清貴
第28回	債権⑨契約総論（双務契約の性質、危険負担、解除）	青柳　清貴

第29回	債権⑩契約各論（贈与契約、売買契約）	青柳　清貴
第30回	債権⑪契約各論（賃貸借契約、請負契約）	青柳　清貴
第31回	債権⑫契約各論（委任契約、事務管理、不当利得）	青柳　清貴
第32回	債権⑬不法行為総論（要件と効果）	青柳　清貴
第33回	債権⑭不法行為各論（特殊な不法行為、損害賠償の減額調整）	青柳　清貴
第34回	債権まとめ	青柳　清貴
第35回	担保物権①担保物権総論（担保物権の通有性と効力）	青柳　清貴
第36回	担保物権②質権、留置権	青柳　清貴
第37回	担保物権③抵当権（被担保債権、物上代位）	青柳　清貴
第38回	担保物権④抵当権（法定地上権）	青柳　清貴
第39回	担保物権まとめ	青柳　清貴
第40回	家族法①親族（親族とは、婚姻、離婚）	青柳　清貴
第41回	家族法②親族（実子関係、養子、親権）	青柳　清貴
第42回	家族法③相続（相続人、相続の承認・放棄、相続分）	青柳　清貴
第43回	家族法④遺言（遺言の種類、遺留分）	青柳　清貴
第44回	家族法まとめ	青柳　清貴
第45回	民法全体の総まとめ	青柳　清貴

準備学習等	短期間で民法全体を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのようにいかされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト民法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

038.民法演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	民法演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
科目教員	青柳　清貴	授業回数	45回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、民法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	民法総則正誤問題①	青柳　清貴
第2回	民法総則正誤問題②	青柳　清貴
第3回	民法の諸原則五択演習	青柳　清貴
第4回	総則五択演習①失踪宣告、制限能力者制度	青柳　清貴
第5回	総則五択演習②法人	青柳　清貴
第6回	総則五択演習③意思表示ⅰ	青柳　清貴
第7回	総則五択演習④意思表示ⅱ	青柳　清貴
第8回	総則五択演習⑤意思表示ⅲ	青柳　清貴
第9回	総則五択演習⑥代理ⅰ	青柳　清貴

第10回	総則五択演習⑦代理ⅱ	青柳　清貴
第11回	総則五択演習⑧無効・取消し、時効	青柳　清貴
第12回	物権正誤問題①	青柳　清貴
第13回	物権正誤問題②	青柳　清貴
第14回	物権五択演習①物権総論	青柳　清貴
第15回	物権五択演習②不動産物権変動ⅰ	青柳　清貴
第16回	物権五択演習③不動産物権変動ⅱ	青柳　清貴
第17回	物権五択演習④動産物権変動ⅰ	青柳　清貴
第18回	物権五択演習⑤動産物権変動ⅱ	青柳　清貴
第19回	物権五択演習⑥占有権と所有権	青柳　清貴
第20回	物権五択演習⑦用益物権	青柳　清貴
第21回	債権正誤問題①	青柳　清貴
第22回	債権正誤問題②	青柳　清貴
第23回	債権五択演習①債権総論	青柳　清貴
第24回	債権五択演習②選択債権、履行の強制、債務不履行	青柳　清貴
第25回	債権五択演習③債権者代位権	青柳　清貴
第26回	債権五択演習④詐害行為取消権	青柳　清貴
第27回	債権五択演習⑤債権譲渡、債権の消滅	青柳　清貴
第28回	債権五択演習⑥多数当事者の債権債務関係	青柳　清貴
第29回	債権五択演習⑦贈与契約、売買契約	青柳　清貴
第30回	債権五択演習⑧賃貸借契約、請負契約	青柳　清貴

第31回	債権五択演習⑨委任契約、事務管理、不当利得	青柳　清貴
第32回	債権五択演習⑩不法行為	青柳　清貴
第33回	担保物権正誤問題①	青柳　清貴
第34回	担保物権正誤問題②	青柳　清貴
第35回	担保物権五択演習①担保物権総論	青柳　清貴
第36回	担保物権五択演習②質権、留置権	青柳　清貴
第37回	担保物権五択演習③抵当権ⅰ	青柳　清貴
第38回	担保物権五択演習④抵当権ⅱ	青柳　清貴
第39回	家族法正誤問題	青柳　清貴
第40回	家族法五択演習①親族	青柳　清貴
第41回	家族法五択演習②結婚、離婚	青柳　清貴
第42回	家族法五択演習③実子、養子、親権	青柳　清貴
第43回	家族法五択演習④相続	青柳　清貴
第44回	家族法五択演習⑤遺言	青柳　清貴
第45回	民法総合問題	青柳　清貴

準備学習等	過去問は受験対策上最良の問題集であると言われる。そのため何を理解し、何を理解できていないかを常に意識して問題演習に臨み、繰り返し解くよう復習に力を入れて欲しい。また、些細な疑問点についても放置せず、教員に質問しその日のうちに解決するよう努めてもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト民法、実戦問題集民法Ⅰ、実戦問題集民法Ⅱ（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

039.行政法概論

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	行政法概論	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	青柳　清貴	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	行政職公務員を目指す受験生にとって、本講義で習得する行政法の知識は公務員試験合格に必要なだけではなく、公務員に任官した後も日常的に用いる知識となることから、積極的に知識を吸収する必要がある。本講義では、初学者にとって特にとっつきにくいといわれる難解な行政法の諸概念について具体例を挙げつつ説明し、無味乾燥的な問題文を具体的なイメージとして喚起できるようにすることを目標とする。さらに、公務員試験の出題の射程内に入った新判例を随時紹介し、知識をアップデートすることにも注力する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	行政法総論①行政法とは、行政法の法源、私法関係と公法	青柳　清貴
第2回	行政法総論②法治主義、行政主体とは、法律の留保に関する学説	青柳　清貴
第3回	行政立法（法規命令と行政規則）	青柳　清貴
第4回	行政行為①行政行為の意義、種類、効力	青柳　清貴
第5回	行政行為②行政行為の瑕疵、自由裁量と羈束裁量	青柳　清貴
第6回	行政行為③行政行為の取消しと撤回、行政行為の附款	青柳　清貴
第7回	行政上の強制措置①直接強制、執行罰、行政代執行、強制徴収	青柳　清貴

第8回	行政上の強制措置②即時強制、行政罰その他の制裁	青柳　清貴
第9回	行政指導、行政計画	青柳　清貴
第10回	行政契約、行政調査	青柳　清貴
第11回	第10回までのまとめ	青柳　清貴
第12回	行政手続法①申請に対する処分、不利益処分	青柳　清貴
第13回	行政手続法②届出、意見公募、行政指導に関する規定	青柳　清貴
第14回	情報公開法（開示請求、開示決定・不開示決定、インカメラ審査）	青柳　清貴
第15回	行政救済法総論（行政救済の仕組み）	青柳　清貴
第16回	国家賠償法①総論、1条責任	青柳　清貴
第17回	国家賠償法②2条責任、最終的賠償責任者、相互保証主義	青柳　清貴
第18回	損失補償、損失補償と国家賠償の関係	青柳　清貴
第19回	国家賠償法、損失補償に関する諸判例	青柳　清貴
第20回	国家賠償法、損失補償のまとめ	青柳　清貴
第21回	行政不服審査法①不服申立ての種類、手続概論	青柳　清貴
第22回	行政不服審査法②不服申立ての要件、当事者能力、当事者適格	青柳　清貴
第23回	行政不服審査法③審査請求の手続と裁決、執行停止	青柳　清貴
第24回	行政不服審査法まとめ	青柳　清貴
第25回	行政事件訴訟法①総論（処分性、原告適格、訴えの利益、出訴機関）	青柳　清貴
第26回	行政事件訴訟法②取消訴訟の原告適格、訴えの利益	青柳　清貴
第27回	行政事件訴訟法③無効等確認訴訟	青柳　清貴
第28回	行政事件訴訟法④不作為の違法確認訴訟、義務付け訴訟、差止訴訟、客観訴訟	青柳　清貴

第29回	行政事件訴訟法まとめ	青柳　清貴
第30回	行政法全体のまとめ	青柳　清貴

準備学習等	行政法の世界では日常生活では使わない用語が多数登場する。そのため、問題文中の専門的な用語を目の当たりにしても即時にその意味が想起できるようになるまで、テキストや授業ノートを反復して確認し、これらの知識を「当たり前の知識」として定着させることに意識的に取り組んでほしい。また、習得した知識が問題を解く上でどのようにいかされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト行政法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

040.行政法演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	行政法演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	青柳　清貴	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、行政法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	行政法総論正誤問題①	青柳　清貴
第2回	行政法総論正誤問題②	青柳　清貴
第3回	行政法総論五択演習①	青柳　清貴
第4回	行政法総論五択演習②	青柳　清貴
第5回	行政立法五択演習	青柳　清貴
第6回	行政行為五択演習①	青柳　清貴
第7回	行政行為五択演習②	青柳　清貴
第8回	行政行為五択演習③	青柳　清貴

第9回	行政上の強制措置五択演習①	青柳　清貴
第10回	行政上の強制措置五択演習②	青柳　清貴
第11回	行政指導、行政計画五択演習	青柳　清貴
第12回	行政計画、行政調査五択演習	青柳　清貴
第13回	行政手続法正誤問題	青柳　清貴
第14回	行政手続法五択演習①	青柳　清貴
第15回	行政手続法五択演習②	青柳　清貴
第16回	情報公開法五択演習	青柳　清貴
第17回	行政救済法正誤問題①行政救済法総論	青柳　清貴
第18回	行政救済法正誤問題②国家賠償、損失補償	青柳　清貴
第19回	国家賠償法五択演習①	青柳　清貴
第20回	国家賠償法五択演習②、損失補償五択演習	青柳　清貴
第21回	行政不服審査法正誤問題	青柳　清貴
第22回	行政不服審査法五択演習①	青柳　清貴
第23回	行政不服審査法五択演習②	青柳　清貴
第24回	行政不服審査法五択演習③	青柳　清貴
第25回	行政事件訴訟法正誤問題	青柳　清貴
第26回	行政事件訴訟法五択演習①	青柳　清貴
第27回	行政事件訴訟法五択演習②	青柳　清貴
第28回	行政事件訴訟法五択演習③	青柳　清貴
第29回	行政事件訴訟法五択演習④	青柳　清貴

第30回	行政法総合問題	青柳　清貴

準備学習等	過去問は受験対策上最良の問題集であると言われる。そのため何を理解し、何を理解できていないかを常に意識して問題演習に臨み、繰り返し解くよう復習に力を入れて欲しい。また、些細な疑問点についても放置せず、教員に質問しその日のうちに解決するよう努めてもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト行政法、実戦問題集行政法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

041.社会学

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	青柳　清貴	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	国家一般職試験、国税専門官試験、一部の地方上級職試験で出題される社会学を短期間で習得することを目的とする。公務員試験で出題される社会学は、知識を正確に記憶していれば正答を導き出せる問題がほとんどである。このことから、いかに短期間で、いかに効率よく、いかに強固に記憶を定着させるかが重要となる。本講義では社会学の著名な学者やその研究内容、実績の説明が中心となるが、これらの知識の記憶方法も併せて紹介する予定である。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	社会学概論（社会学とは、社会とは、社会学の発展史）	青柳　清貴
第2回	総合社会学（コント、スペンサー）	青柳　清貴
第3回	社会学主義（デュルケーム、方法論的集団主義、自殺論）	青柳　清貴
第4回	理解社会学（ウェーバー、方法論的個人主義、価値自由）	青柳　清貴
第5回	形式社会学（ジンメル、方法論的関係主義、心的相互作用）	青柳　清貴
第6回	機能主義的社会学（パーソンズ、マートン、構造と機能論）	青柳　清貴
第7回	ミクロ社会学、マルクスの社会学（史的唯物論）	青柳　清貴
第8回	パーソナリティ論、社会的性格	青柳　清貴

第9回	文化論、地位と役割	青柳　清貴
第10回	階級と階層、社会運動論	青柳　清貴
第11回	社会集団（組織集団と未組織集団、テンニース、マッキーヴァー、クーリー）	青柳　清貴
第12回	家族論（家族の機能、家族間のリーダーシップ、家族の変化）	青柳　清貴
第13回	都市社会学（パーク、バージェス、ホイト）	青柳　清貴
第14回	組織論、大衆社会論	青柳　清貴
第15回	社会学の総まとめ	青柳　清貴

準備学習等	受験対策上、社会学に多くの時間を割けないのが実情である。したがって、意識的に暗記の時間を設け、時機を見て問題集でアウトプットする、ということを短期間のうちに繰り返してほしい。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト社会学（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

042.ミクロ経済学

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	ミクロ経済学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	岩渕　修	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	消費者の需要分析、企業の生産分析、市場での需要と供給の分析、不完全競争、外部性や公共財、貿易理論などの学習を通してミクロ経済学の基本的な考え方をマスターし、不確実性と情報の非対称性やゲーム理論を理解する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	市場機構と余剰	岩渕　修	第16回	厚生経済学の基本定理	岩渕　修
第2回	市場均衡の安定性と調整過程	岩渕　修	第17回	不完全競争の基礎理論	岩渕　修
第3回	価格弾性と課税の負担	岩渕　修	第18回	複占とクールノー・モデル	岩渕　修
第4回	消費者行動と無差別曲線分析	岩渕　修	第19回	シュタッケルベルク・モデルとベルトラン・モデル	岩渕　修
第5回	所得の変化の効果	岩渕　修	第20回	屈折需要曲線と独占的競争	岩渕　修
第6回	価格の変化の効果	岩渕　修	第21回	市場の失敗と外部性	岩渕　修
第7回	需要曲線の導出	岩渕　修	第22回	公共財と自然独占	岩渕　修
第8回	労働の供給曲線	岩渕　修	第23回	不確実性とリスクの経済学	岩渕　修
第9回	異時点間の消費と貯蓄	岩渕　修	第24回	情報の非対称性	岩渕　修

第10回	短期費用関数と利潤最大化	岩渕　修	第25回	ゲーム理論とナッシュ均衡	岩渕　修
第11回	与件の変化と利潤最大化	岩渕　修	第26回	混合戦略ゲームと 展開型ゲーム	岩渕　修
第12回	長期費用関数と利潤最大化	岩渕　修	第27回	投票のパラドックスと 中位投票者定理	岩渕　修
第13回	生産関数と利潤最大化	岩渕　修	第28回	比較生産費説	岩渕　修
第14回	供給曲線の導出	岩渕　修	第29回	ヘクシャー・オリーンの定理	岩渕　修
第15回	ボックスダイアグラムと パレート最適	岩渕　修	第30回	貿易政策の効果	岩渕　修

準備学習等	ミクロ経済学を初めて学ぶという人が多いと思われるので、予習よりは復習を中心に行うこと。特に経済学用語はわかりやすい言葉に置き換えて覚え、講義で詳しく説明した箇所を中心に後でよく見直すこと。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ｉ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

043.ミクロ経済学演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	ミクロ経済学演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	30回
科目教員	岩渕　修	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	講義で学習したミクロ経済学に関する実際の問題を解いて、解き方を学習するとともに、ミクロ経済学の理解を確かめ、問題を解くことで理解を一層深める。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	余剰分析と厚生の損失	岩渕　修	第16回	厚生経済学の第１・第２基本定理	岩渕　修
第2回	ワルラス安定とマーシャル安定	岩渕　修	第17回	独占の利潤最大化条件	岩渕　修
第3回	需要の価格弾力性	岩渕　修	第18回	クールノー・モデル	岩渕　修
第4回	無差別曲線と最適消費	岩渕　修	第19回	シュタッケルベルク・モデルとベルトラン・モデル	岩渕　修
第5回	所得・消費曲線と所得弾力性	岩渕　修	第20回	屈折需要曲線と独占的競争	岩渕　修
第6回	代替効果と所得効果	岩渕　修	第21回	外部経済と外部不経済	岩渕　修
第7回	最適消費と需要曲線	岩渕　修	第22回	公共財と自然独占	岩渕　修
第8回	後方屈伸型労働供給曲線	岩渕　修	第23回	リスクに対する態度と期待効用	岩渕　修
第9回	異時点間の消費と貯蓄	岩渕　修	第24回	逆選択とモラル・ハザード	岩渕　修
第10回	利潤最大化条件と損益分岐点と操業停止点	岩渕　修	第25回	ゲーム理論と標準型ゲーム	岩渕　修

第11回	固定費用や可変費用の変化の効果	岩渕　修	第26回	混合戦略ゲーム	岩渕　修
第12回	長期利潤最大化条件	岩渕　修	第27回	投票のパラドックス	岩渕　修
第13回	生産関数と利潤最大化条件	岩渕　修	第28回	リカードの比較生産費説	岩渕　修
第14回	供給曲線の導出	岩渕　修	第29回	ヘクシャー・オリーンの 定理と関連定理	岩渕　修
第15回	パレート最適条件	岩渕　修	第30回	貿易政策の効果	岩渕　修

準備学習等	事前に講義内容の確認をしてから問題を解き、解けなかった問題や不明な点は、再度理論内容をテキストやノートで復習することが大切となる。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅰ、実戦問題集Ⅰ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

044.マクロ経済学

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	マクロ経済学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	岩渕　修	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	国民経済計算の基本構造を把握し、標準的なケインジアン・モデルである45度線モデル、IS-LMモデル、AD-ASモデル、国際経済モデルを学習するとともに、マネタリスや合理的期待学派の経済学などを理解し、マクロ経済政策の効果を考察する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	経済活動の測定と国民所得	岩渕　修	第16回	ローレンツ曲線とジニ係数	岩渕　修
第2回	産業連関表と分析	岩渕　修	第17回	投資関数論	岩渕　修
第3回	45度線モデル	岩渕　修	第18回	経済成長と成長会計	岩渕　修
第4回	45度線モデルと経済政策	岩渕　修	第19回	ハロッド・ドーマー・モデル	岩渕　修
第5回	ケインズの投資関数論	岩渕　修	第20回	ソロー・モデル	岩渕　修
第6回	貨幣数量説と貨幣需要	岩渕　修	第21回	労働市場論	岩渕　修
第7回	貨幣市場の部分均衡分析	岩渕　修	第22回	AD-ASモデル	岩渕　修
第8回	IS-LM分析モデル①	岩渕　修	第23回	AD-ASモデルと経済政策	岩渕　修
第9回	IS-LM分析モデル②	岩渕　修	第24回	ペバレッジ曲線と自然失業率	岩渕　修

第10回	IS-LMモデルと経済政策	岩渕　修	第25回	フィリップス曲線	岩渕　修
第11回	貨幣供給と金融政策	岩渕　修	第26回	IAD曲線とIAS曲線①	岩渕　修
第12回	為替レートと為替レート決定理論	岩渕　修	第27回	IAD曲線とIAS曲線②	岩渕　修
第13回	マンデル・フレミング・モデル①	岩渕　修	第28回	合理的期待形成仮説	岩渕　修
第14回	マンデル・フレミング・モデル②	岩渕　修	第29回	金融市場と資産価格	岩渕　修
第15回	消費関数論争	岩渕　修	第30回	マクロ経済政策	岩渕　修

準備学習等	マクロ経済学を初めて学ぶという人が多いと思われるので、予習よりは復習を中心に行ってください。特に経済学用語はわかりやすい言葉に置き換えて覚え、講義で詳しく説明した箇所を中心に、よく学習すること。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅱ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

045.マクロ経済学演習

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	マクロ経済学演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	90時間
		単位数	3単位
		授業回数	45回
科目教員	岩渕　修	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	講義で学習したマクロ経済学に関する実際の問題を解いて、解き方を学習するとともに、マクロ経済学の理解を確かめ、問題を解くことで理解を一層深める。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	国民所得の概念	岩渕　修
第2回	国民経済計算	岩渕　修
第3回	産業連関表	岩渕　修
第4回	産業連関分析	岩渕　修
第5回	財市場と45度線分析	岩渕　修
第6回	有効需要の原理	岩渕　修
第7回	経済政策と乗数効果	岩渕　修
第8回	ケインズの投資関数論	岩渕　修
第9回	古典派の経済学と貨幣数量説	岩渕　修
第10回	流動性選好説とケインズ	岩渕　修

第11回	貨幣市場の部分均衡分析	岩渕　修
第12回	IS曲線、LM曲線の導出	岩渕　修
第13回	IS-LM分析モデル①	岩渕　修
第14回	IS-LM分析モデル②	岩渕　修
第15回	経済政策とクラウディング・アウト効果	岩渕　修
第16回	マネー・ストックの定義と分類	岩渕　修
第17回	ハイ・パワード・マネーと貨幣乗数	岩渕　修
第18回	国際収支表とISバランス	岩渕　修
第19回	為替レート決定の理論	岩渕　修
第20回	Jカーブ効果とマーシャル・ラーナー条件	岩渕　修
第21回	マンデル・フレミング・モデル①	岩渕　修
第22回	マンデル・フレミング・モデル②	岩渕　修
第23回	ローレンツ曲線とジニ係数	岩渕　修
第24回	消費関数論争	岩渕　修
第25回	いろいろな投資関数	岩渕　修
第26回	成長会計	岩渕　修
第27回	ハロッド・ドーマー・モデル	岩渕　修
第28回	ソロー・モデル①	岩渕　修
第29回	ソロー・モデル②	岩渕　修
第30回	内生的経済成長モデル	岩渕　修
第31回	労働市場	岩渕　修

第32回	ベバレッジ曲線と自然失業率	岩渕　修
第33回	AD曲線とAS曲線の導出	岩渕　修
第34回	AD－AS分析モデル①	岩渕　修
第35回	AD－AS分析モデル②	岩渕　修
第36回	フィリップス曲線と自然失業率仮説	岩渕　修
第37回	IAD曲線とIAS曲線の導出	岩渕　修
第38回	IAD－IAS曲線分析モデル①	岩渕　修
第39回	IAD－IAS曲線分析モデル②	岩渕　修
第40回	マネタリストの経済学	岩渕　修
第41回	合理的期待形成仮説	岩渕　修
第42回	金融市場とイールド・カーブ①	岩渕　修
第43回	金融市場とイールド・カーブ②	岩渕　修
第44回	マクロ経済政策の要点整理①	岩渕　修
第45回	マクロ経済政策の要点整理②	岩渕　修

準備学習等	事前に講義内容を確認してから問題を解き、解けなかった問題や不明な点は、再度、理論内容をテキスト、ノートで復習することが大切となる。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅱ、実戦問題集Ⅱ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

046.財政学

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	財政学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	岩渕　修	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	現代の経済社会において重要な役割を果たしている財政を理論面、制度面、政策面から理解するとともに、日本の一般会計予算や地方財政などの財政事情を把握し、同時に財政の国際比較をおこない、日本の現状を理解する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	財政の三機能と財政の学説史	岩渕　修
第2回	予算原則と予算制度	岩渕　修
第3回	予算制度と予算過程	岩渕　修
第4回	日本の一般会計当初予算の現状	岩渕　修
第5回	社会保障関係費などの財政事情	岩渕　修
第6回	財政投融資	岩渕　修
第7回	租税と租税原則	岩渕　修
第8回	租税理論と負の所得税	岩渕　修
第9回	日本の租税制度と財政事情①	岩渕　修

第10回	日本の租税制度と財政事情②	岩渕　修
第11回	国債発行と保有状況	岩渕　修
第12回	公債理論（負担の転嫁）	岩渕　修
第13回	日本の財政史	岩渕　修
第14回	地方財政の制度と事情	岩渕　修
第15回	財政事情の国際比較	岩渕　修

準備学習等	最近の傾向として、日本の経済・財政問題や世界の経済・財政問題などの時事に関する出題が多くなっているので、ニュースや新聞等から情報を入手すること。
教科書 参考書等	テキスト財政学、実戦問題集 財政学（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

047.商業簿記Ⅰ

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	商業簿記Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	150時間
		単位数	5単位
		授業回数	75回
科目教員	尾形　幸祐	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	小規模会社を前提とした商業簿記を学習する。簿記の基本となる日々の取引の仕訳をできるようになること、さらには決済処理を行い帳簿記入をできるようになることを目標とし、最終的には簿記検定試験3級の検定試験に合格することを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、簿記の目的、財政状態	尾形　幸祐	第41回	項目別対策　計算問題①	尾形　幸祐
第2回	経営状態、損益計算書と貸借対照表の関係、簿記一巡	尾形　幸祐	第42回	項目別対策　計算問題②	尾形　幸祐
第3回	取引、仕訳、勘定口座への記入方法、試算表	尾形　幸祐	第43回	項目別対策　計算問題③	尾形　幸祐
第4回	商品売買の記帳方法、3分法、売掛金と買掛金の記帳方法	尾形　幸祐	第44回	項目別対策　計算問題④	尾形　幸祐
第5回	返品と値引の記帳法、分記法、仕入諸掛および販売諸掛	尾形　幸祐	第45回	項目別対策　伝票①	尾形　幸祐
第6回	手付金（内金）の記帳方法、商品券・他店商品券の記帳方法	尾形　幸祐	第46回	項目別対策　伝票②	尾形　幸祐
第7回	簿記一巡（決算）	尾形　幸祐	第47回	項目別対策　伝票③	尾形　幸祐

第8回	決算整理、繰越商品および仕入の決算整理	尾形　幸祐	第48回	項目別対策　伝票④	尾形　幸祐
第9回	精算表	尾形　幸祐	第49回	項目別対策　帳簿記入①	尾形　幸祐
第10回	現金の記帳方法	尾形　幸祐	第50回	項目別対策　帳簿記入②	尾形　幸祐
第11回	当座預金の記帳方法、当座借越の記帳方法	尾形　幸祐	第51回	項目別対策　帳簿記入③	尾形　幸祐
第12回	手形の記帳方法	尾形　幸祐	第52回	項目別対策　帳簿記入④	尾形　幸祐
第13回	第1回確認テスト	尾形　幸祐	第53回	項目別対策　財務諸表の作成①	尾形　幸祐
第14回	受取手形および売掛金の決算整理	尾形　幸祐	第54回	項目別対策　財務諸表の作成②	尾形　幸祐
第15回	現金過不足および現金の決算整理	尾形　幸祐	第55回	項目別対策　財務諸表の作成③	尾形　幸祐
第16回	有価証券、有形固定資産	尾形　幸祐	第56回	項目別対策　財務諸表の作成④	尾形　幸祐
第17回	債権および債務、未収金および未払金の記帳方法	尾形　幸祐	第57回	過去問題①	尾形　幸祐
第18回	有形固定資産の決算整理	尾形　幸祐	第58回	過去問題②	尾形　幸祐
第19回	その他の勘定および訂正仕訳	尾形　幸祐	第59回	過去問題③	尾形　幸祐
第20回	手形貸付金および手形借入金の記帳方法、立替金および預り金の記帳方法	尾形　幸祐	第60回	過去問題④	尾形　幸祐
第21回	仮払金および仮受金の記帳方法 その他の収益および費用	尾形　幸祐	第61回	過去問題⑤	尾形　幸祐
第22回	資本金と税金	尾形　幸祐	第62回	過去問題⑥	尾形　幸祐
第23回	費用および収益の決算整理	尾形　幸祐	第63回	過去問題⑦	尾形　幸祐

第24回	消耗品および消耗品費の決算整理 引出金の決算整理	尾形　幸祐	第64回	過去問題⑧	尾形　幸祐
第25回	訂正仕訳	尾形　幸祐	第65回	過去問題⑨	尾形　幸祐
第26回	損益計算書および貸借対照表①	尾形　幸祐	第66回	過去問題⑩	尾形　幸祐
第27回	損益計算書および貸借対照表②	尾形　幸祐	第67回	電卓演習①	尾形　幸祐
第28回	第2回確認テスト	尾形　幸祐	第68回	電卓演習②	尾形　幸祐
第29回	主要簿と補助簿	尾形　幸祐	第69回	電卓演習③	尾形　幸祐
第30回	現金出納帳および当座預金出納帳 小口現金出納帳	尾形　幸祐	第70回	電卓演習④	尾形　幸祐
第31回	仕入帳・売上帳、売掛金元帳・買掛金元帳	尾形　幸祐	第71回	直前模擬試験①	尾形　幸祐
第32回	商品有高帳	尾形　幸祐	第72回	直前模擬試験②	尾形　幸祐
第33回	手形・手形記入帳	尾形　幸祐	第73回	直前模擬試験③	尾形　幸祐
第34回	試算表の作成①	尾形　幸祐	第74回	直前模擬試験④	尾形　幸祐
第35回	試算表の作成②	尾形　幸祐	第75回	直前模擬試験（総まとめ）	尾形　幸祐
第36回	伝票、伝票会計	尾形　幸祐			
第37回	項目別対策　仕訳問題①	尾形　幸祐			
第38回	項目別対策　仕訳問題②	尾形　幸祐			
第39回	項目別対策　仕訳問題③	尾形　幸祐			

第40回	項目別対策　仕訳問題④	尾形　幸祐			

準備学習等	予習は不要です。日々の授業内容を踏まえて、不明な点についてはすぐに教員に質問すること。
教科書 参考書等	ＡＬＦＡ　3級商業簿記　テキスト・問題集・解答集、ステップアップ問題集、 過去問題集（大原出版）、日商簿記検定 直前模擬試験、日商簿記検定 公開模擬試験（学校法人 大原学園）、簿記能力検定試験 最新過去問題集（全国経理教育協会）、 完全分類全経簿記3級商業簿記（株式会社 英光社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	就職活動Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	尾形　幸祐　松村　匡	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	観点別評価　：　100　％
			：　％
			：　％
			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般社会常識及び仕事に必要な知識を学び、人間関係を良好に保つために必要なコミュニケーション能力を身につけ就職活動に生かすこと、また時事問題に触れたり職種研究と求人情報の検索をすることで自分に最適な仕事を見つけることを目的とする。就職後ビジネスの場で即戦力となるような知識やマナーを習得し、その上で社会人常識マナー検定に合格すること、また自分に合った仕事、企業を明確にすることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	社会人常識マナー （社会人常識マナーとは、社会と組織）	尾形　幸祐 松村　匡	第16回	時事問題 （日本の社会問題事情①）	尾形　幸祐 松村　匡
第2回	社会人常識マナー （仕事と成果）	尾形　幸祐 松村　匡	第17回	時事問題 （日本の社会問題事情②）	尾形　幸祐 松村　匡
第3回	社会人常識マナー （一般知識）	尾形　幸祐 松村　匡	第18回	時事問題 （日本の社会問題事情③）	尾形　幸祐 松村　匡

第4回	社会人常識マナー （ビジネス計算、ビジネスコミュニケーション）	尾形　幸祐 松村　匡	第19回	時事問題 （日本の社会問題事情④）	尾形　幸祐 松村　匡
第5回	社会人常識マナー （社会人にふさわしい言葉使い、ビジネス文書の書き方と留意点）	尾形　幸祐 松村　匡	第20回	時事問題（国際事情①）	尾形　幸祐 松村　匡
第6回	社会人常識マナー （職場のマナー）	尾形　幸祐 松村　匡	第21回	時事問題（国際事情②）	尾形　幸祐 松村　匡
第7回	社会人常識マナー （来客応対）	尾形　幸祐 松村　匡	第22回	時事問題（国際事情③）	尾形　幸祐 松村　匡
第8回	社会人常識マナー （電話応対）	尾形　幸祐 松村　匡	第23回	時事問題（国際事情④）	尾形　幸祐 松村　匡
第9回	社会人常識マナー （交際業務）	尾形　幸祐 松村　匡	第24回	職種研究と求人票情報の 検索①	尾形　幸祐 松村　匡
第10回	社会人常識マナー （文書類の受け取りと発送）	尾形　幸祐 松村　匡	第25回	職種研究と求人票情報の 検索②	尾形　幸祐 松村　匡
第11回	社会人常識マナー（会議）	尾形　幸祐 松村　匡	第26回	職種研究と求人票情報の 検索③	尾形　幸祐 松村　匡
第12回	社会人常識マナー （ファイリング）	尾形　幸祐 松村　匡	第27回	職種研究と求人票情報の 検索④	尾形　幸祐 松村　匡

第13回	検定試験過去問題 演習解説①	尾形　幸祐 松村　匡	第28回	職種研究と求人票情報の 検索⑤	尾形　幸祐 松村　匡
第14回	検定試験過去問題 演習解説②	尾形　幸祐 松村　匡	第29回	職種研究と求人票情報の 検索⑥	尾形　幸祐 松村　匡
第15回	検定試験過去問題 演習解説③	尾形　幸祐 松村　匡	第30回	職種研究と求人票情報の 検索⑦	尾形　幸祐 松村　匡

準備学習等	予習の必要はありません。講義内容をよく復習すること。
教科書 参考書等	社会人常識マナー検定テキスト（公益社団法人全国経理教育協会） 社会人常識マナー検定試験　過去問題集（公益社団法人全国経理教育協会） 就職ガイドブック、就職ノートブック（学校法人 大原学園） 授業で配布するプリント・資料
備考	評価の観点については、A「知識・技能」、B「思考・判断・表現」、C「主体的に取り組む態度」の3項目である。評価の割合は、A30%、B40%、C30%とする。各項目の評価規準については、最初の授業で説明する。授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	就職活動Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	尾形　幸祐 松村　匡	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	観点別評価　：　100　％
			：　％
			：　％
			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職活動において最も重要なのが面接である。面接では自分をアピールすることになるが、そのためには自分がどういう人物かを把握しなければならない。そこでこの講義の第一段階として自己分析を徹底的に行う。それを踏まえて第二段階として様々な形式の面接練習を行い、どんな面接にも対応できる能力を習得してもらう。また、就職活動の際に必要な予備知識を習得し、万全の態勢を築いてもらうことを目的とする。実際の面接の場で自分を堂々とアピールできるようになることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	自己分析 （自己分析の意義・方法・注意点）	尾形　幸祐 松村　匡	第16回	面接対策（個人面接①）	尾形　幸祐 松村　匡
第2回	自己分析 （高校時代の振り返り）	尾形　幸祐 松村　匡	第17回	面接対策（個人面接②）	尾形　幸祐 松村　匡
第3回	自己分析 （専門学校時代の振り返り）	尾形　幸祐 松村　匡	第18回	面接対策（個人面接③）	尾形　幸祐 松村　匡

第4回	自己分析 （周りから見た自分の印象）	尾形　幸祐 松村　匡	第19回	面接対策（Web面接①）	尾形　幸祐 松村　匡
第5回	自己分析 （性格・長所・短所）	尾形　幸祐 松村　匡	第20回	面接対策（Web面接②）	尾形　幸祐 松村　匡
第6回	自己分析 （学生時代に頑張ったこと①）	尾形　幸祐 松村　匡	第21回	面接対策（Web面接③）	尾形　幸祐 松村　匡
第7回	自己分析 （学生時代に頑張ったこと②）	尾形　幸祐 松村　匡	第22回	面接対策（集団面接①）	尾形　幸祐 松村　匡
第8回	自己分析 （資格取得・趣味、特技等その他アピールできる項目）	尾形　幸祐 松村　匡	第23回	面接対策（集団面接②）	尾形　幸祐 松村　匡
第9回	自己分析 （自己PRの書き方）	尾形　幸祐 松村　匡	第24回	面接対策（集団面接③）	尾形　幸祐 松村　匡
第10回	自己分析 （自己PRの作成①）	尾形　幸祐 松村　匡	第25回	面接対策（集団討論①）	尾形　幸祐 松村　匡
第11回	自己分析 （自己PRの作成②）	尾形　幸祐 松村　匡	第26回	面接対策（集団討論②）	尾形　幸祐 松村　匡
第12回	自己分析 （自己PRを伝える）	尾形　幸祐 松村　匡	第27回	面接対策（集団討論③）	尾形　幸祐 松村　匡

第13回	面接対策 （面接試験の心構えと質問研究）	尾形　幸祐 松村　匡	第28回	就職活動対策 （就職概論と就職スケジュール）	尾形　幸祐 松村　匡
第14回	面接対策 （志望動機の作り方）	尾形　幸祐 松村　匡	第29回	就職活動対策 （企業へのアクセス・応募書類の準備と送付方法）	尾形　幸祐 松村　匡
第15回	面接対策 （志望動機を伝える）	尾形　幸祐 松村　匡	第30回	就職活動対策 （就職活動でのトラブル対応・説明会、選考会、内定における注意点）	尾形　幸祐 松村　匡

準備学習等	予習の必要はありません。講義内容をよく復習すること。
教科書 参考書等	就職ガイドブック、就職ノートブック（学校法人 大原学園） 授業で配布するプリント・資料
備考	評価の観点については、A「知識・技能」、B「思考・判断・表現」、C「主体的に取り組む態度」の3項目である。評価の割合は、A30%、B40%、C30%とする。各項目の評価規準については、最初の授業で説明する。授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	言語能力	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	2単位
科目教員	大瀧　武史 澁谷　知之	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％
			平常点　：　30　％
			：　％
			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	民間企業への就職活動における一般教養試験対策に必須と言える国語（言語）能力の向上を目的とし、漢字能力検定試験の合格を到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	語句（２語の関係①）	大瀧　武史 澁谷　知之
第2回	語句（２語の関係②）	大瀧　武史 澁谷　知之
第3回	語句（用法・意味）	大瀧　武史 澁谷　知之
第4回	長文読解	大瀧　武史 澁谷　知之
第5回	文章整序・空欄補充	大瀧　武史 澁谷　知之
第6回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（訓読み送り仮名編）	大瀧　武史 澁谷　知之
第7回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（熟語編・異字同訓①）	大瀧　武史 澁谷　知之
第8回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（熟語編・異字同訓②）	大瀧　武史 澁谷　知之
第9回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（熟語編・異字同訓③）	大瀧　武史 澁谷　知之
第10回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（同音異義・誤字訂正・類義語①）	大瀧　武史 澁谷　知之

第11回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（同音異義・誤字訂正・類義語②）	大瀧　武史 澁谷　知之
第12回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（同音異義・誤字訂正・類義語③）	大瀧　武史 澁谷　知之
第13回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（反対語・漢字の意味・漢字の使い方①）	大瀧　武史 澁谷　知之
第14回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（反対語・漢字の意味・漢字の使い方②）	大瀧　武史 澁谷　知之
第15回	漢字能力検定試験対策・項目別問題（反対語・漢字の意味・漢字の使い方③）	大瀧　武史 澁谷　知之

準備学習等	日々の積み重ねが大切な科目なので、間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。
教科書 参考書等	最新最強のSPIクリア問題集、最新最強の適性検査クリア問題集（成美堂出版）、漢字能力検定試験対策問題集（学校法人大原学園）、漢字能力検定試験対策直前模擬試験　第1回～第5回（学校法人大原学園）、国語辞典もしくは電子辞書
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。また、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。

051.非言語能力

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	非言語能力	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	前田　幸仁・佐々木智也・佐藤　弘章・松村　匡・高橋　航	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般企業への就職活動における一般教養試験の必須分野である数学（非言語）能力の向上を目的とする。具体的には、SPI3等の問題演習力の養成を目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	仕事算①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第16回	資料解釈②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第2回	仕事算②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第17回	順列・組合せ①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第3回	損益算①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第18回	順列・組合せ②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第4回	損益算②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第19回	確率①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第5回	分割払い①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第20回	確率②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第6回	分割払い②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第21回	割合①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第7回	料金割引①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第22回	割合②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第8回	料金割引②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第23回	集合①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第9回	料金精算①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第24回	集合②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第10回	料金精算②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第25回	推論①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航

第11回	速度①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第26回	推論②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第12回	速度③	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第27回	グラフの読み取り①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第13回	旅人算①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第28回	グラフの読み取り②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第14回	旅人算②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第29回	グラフの領域①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航
第15回	資料解釈①	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航	第30回	グラフの領域②	前田幸仁･佐藤弘章 佐々木智也･松村匡 高橋航

準備学習等	予習は不要。復習を中心に家庭学習すること。
教科書 参考書等	大原生のための一般教養数学（学校法人大原学園） 最新SPI３【完全版】（高橋書店）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

052.プレゼンテーション能力

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	プレゼンテーション能力	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	30時間
		単位数	1単位
		授業回数	15回
科目教員	大庄司　文子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員	大庄司　文子		: %
			: %

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁におけるシステム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。
実務経験教員の実務経験内容	企業にて、OA機器インストラクション業務に従事。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。
授業目的 到達目標	ビジネスシーンを想定したプレゼンテーション能力の向上を目的とする。 ビジネスシーンで即戦力となることができるようパワーポイントの基礎知識を身に付け、プレゼンテーション技能認定試験に合格することを到達目標とする。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	プレゼンテーション技能（基礎知識）	大庄司　文子
第2回	プレゼンテーション技能（基本操作）	大庄司　文子
第3回	プレゼンテーション技能（環境の設定と変更）	大庄司　文子
第4回	プレゼンテーション技能（書式設定）	大庄司　文子
第5回	プレゼンテーション技能（スライド）	大庄司　文子
第6回	プレゼンテーション技能（ファイル）	大庄司　文子
第7回	プレゼンテーション技能（編集）	大庄司　文子
第8回	プレゼンテーション技能（罫線と表）	大庄司　文子

第9回	プレゼンテーション技能（オブジェクト）	大庄司　文子
第10回	プレゼンテーション技能（校閲）	大庄司　文子
第11回	プレゼンテーション技能　練習問題①	大庄司　文子
第12回	プレゼンテーション技能　練習問題②	大庄司　文子
第13回	プレゼンテーション技能　練習問題③	大庄司　文子
第14回	プレゼンテーション技能　練習問題④	大庄司　文子
第15回	プレゼンテーション技能　練習問題⑤	大庄司　文子

準備学習等	基本的に予習は不要。各自のプレゼンテーション能力の習熟度に応じた自主的な演習時間の確保が必要である。
教科書 参考書等	プレゼンテーション技能認定試験　問題集（サーティファイ）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。

053.マーケティング基礎

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 行政公務員学科（２年課程）・行政公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ 法律公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	マーケティング基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木秀俊、熊谷茜美	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員	熊谷茜美	成績評価方法	筆記試験 ： 50 ％
			ミニテスト ： 30 ％
			授業態度 ： 20 ％
			： ％
			： ％

実務経験教員の実務経験に関する授業内容	小売業で必要な知識・技能、販売担当者として必要な知識・技術を、小売りの現場および経営者の立場から学習する。
実務経験教員の実務経験内容	一般事業会社において財務諸表の会計情報に基づき、事業者の経営コンサルティング業務の実務経験がある。
授業目的 到達目標	将来、販売士・営業職を希望する学生を対象に、小売店舗を運営するための基本的な仕組み、インターネットを活用したマーケテイング戦略を学ぶことを目的とし、サーティファイ主催ネットマーケティング検定に合格できる能力を身につけることを目標としています。

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス インターネットマーケテイングを行うにあたって	鈴木秀俊 熊谷茜美
第2回	インターネット技術概論	鈴木秀俊 熊谷茜美
第3回	インターネットマーケテイングの個別手法	鈴木秀俊 熊谷茜美
第4回	インターネットリサーチ	鈴木秀俊 熊谷茜美
第5回	プロモーション	鈴木秀俊 熊谷茜美
第6回	インターネット広告	鈴木秀俊 熊谷茜美

第7回	インターネットを利用した販売	鈴木秀俊 熊谷茜美
第8回	効果測定	鈴木秀俊 熊谷茜美
第9回	外注管理	鈴木秀俊 熊谷茜美
第10回	各種ポリシー	鈴木秀俊 熊谷茜美
第11回	関連法規①	鈴木秀俊 熊谷茜美
第12回	関連法規②	鈴木秀俊 熊谷茜美
第13回	インターネットを利用した販とコンプライアンス、CSR	鈴木秀俊 熊谷茜美
第14回	事例問題	鈴木秀俊 熊谷茜美
第15回	過去問題演習・解説	鈴木秀俊 熊谷茜美

準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。 確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。
教科書 参考書等	ネットマーケティング検定公式テキスト　インターネットマーケテイング　基礎編』（株式会社インプレス） ネットマーケティング検定　過去問題集　（株式会社ウィネット） １回で合格！リテールマーケテイング〈販売士〉検定３級テキスト＆問題集（成美堂出版） １回で合格！リテールマーケテイング〈販売士〉検定３級過去問題集（成美堂出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。マーケテイング基礎は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 税理士会計士学科（４年課程）・税理士会計士学科（３年課程）・ 税理士会計士学科（２年４ヵ月課程）・ 税理士会計士学科（２年課程）・行政公務員学科（２年課程）・ 行政公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（２年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（２年課程）・ 法律公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	税務会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	120時間
		単位数	4単位
科目教員	鈴木秀俊、菊地裕俊	授業回数	30回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 ％
			授業態度 ： 30 ％
			： ％
			： ％
			： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	消費税・法人税の基本的な税務処理及び源泉徴収や確定申告の書類作成ができることを目的とする。また、消費税・法人税の計算及び理論体系を学ぶことで全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験2級及び、全国経理教育協会主催法人税法能力検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	【消費税】 消費税の概要 課税の対象、非課税	鈴木秀俊 菊地裕俊	第16回	【法人税】 法人税の概要 所得の金額の計算方法	鈴木秀俊 菊地裕俊
第2回	【消費税】 輸出免税等	鈴木秀俊 菊地裕俊	第17回	【法人税】 租税公課の概要 減価償却（概要、減価償却資産の範囲・償却方法）	鈴木秀俊 菊地裕俊

第3回	【消費税】 納税義務者、納税地 納税期間	鈴木秀俊 菊地裕俊	第18回	【法人税】 繰延資産、貸倒引当金 （概要、繰り入れ限度額の計算式、個別評価金銭債権、一括評価金銭債権）	鈴木秀俊 菊地裕俊
第4回	【消費税】 課税標準及び税率	鈴木秀俊 菊地裕俊	第19回	【法人税】 貸倒引当金（申告調整額の計算および処理、問題集解説） 同族会社	鈴木秀俊 菊地裕俊
第5回	【消費税】 仕入税額控除	鈴木秀俊 菊地裕俊	第20回	【法人税】 役員に対する給与等 税額の計算（別表四および別表一のまとめ）	鈴木秀俊 菊地裕俊
第6回	【消費税】 課税標準額に対する 消費税額の調整	鈴木秀俊 菊地裕俊	第21回	【法人税】 寄附金 交際費等	鈴木秀俊 菊地裕俊
第7回	【消費税】 申告、納付、還付	鈴木秀俊 菊地裕俊	第22回	【法人税】 資産の評価 申告手続	鈴木秀俊 菊地裕俊
第8回	【消費税】 模擬問題演習・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第23回	【法人税】 模擬問題演習・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊
第9回	【消費税】 過去試験問題第111回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第24回	【法人税】 過去試験問題第111回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊
第10回	【消費税】 過去試験問題第110回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第25回	【法人税】 過去試験問題第110回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊

第11回	【消費税】 過去試験問題第109回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第26回	【法人税】 過去試験問題第109回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊
第12回	【消費税】 過去試験問題第108回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第27回	【法人税】 過去試験問題第108回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊
第13回	【消費税】 過去試験問題第107回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第28回	【法人税】 過去試験問題第107回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊
第14回	【消費税】 過去試験問題第105回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第29回	【法人税】 過去試験問題第105回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊
第15回	【消費税】 過去試験問題第104回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊	第30回	【法人税】 過去試験問題第104回 実施・解説	鈴木秀俊 菊地裕俊

準備学習等	税務書類は全ての計算ができて完成する。日々の授業の復習を怠らないようにすること。また、各回の内容の理解が不十分な場合には、科目教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。
教科書 参考書等	【消費税】 全経能力検定試験準拠　消費税法　2級テキスト（有限会社　協進社） 全経能力検定試験準拠　消費税法　2級問題集　（有限会社　協進社） 令和5年度版　消費税法能力検定試験過去問題集　2級 （公益社団法人　全国経理教育協会） 【法人税】 全経能力検定試験準拠　法人税法3級　テキスト（有限会社　協進社） 全経能力検定試験準拠　法人税法3級　問題集　（有限会社　協進社） 令和5年度版　法人税法能力検定試験　過去問題集　3級 （公益社団法人　全国経理教育協会）

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。税務会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

055.秘書基礎Ⅰ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 行政公務員学科（２年課程）・行政公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ 法律公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	秘書基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	千葉菜愛	成績評価方法	筆記試験 ： 50 ％
			ミニテスト ： 30 ％
			授業態度 ： 20 ％
科目教員のうち実務経験教員			： ％
			： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	秘書実務、一般知識の内容を理解し、組織人としてマナー・技能の基本を習得していきます。言葉遣いなどを正しく使うことができるようになり、実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス、検定試験について 一般知識：カタカナ語 マナー接遇：尊敬語・謙譲語	千葉菜愛	第6回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：文書の重要漢字 文書作成の知識、 社内文書	千葉菜愛
第2回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：上司に対する言葉遣い	千葉菜愛	第7回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：文書作成の知識、 社外文書宛名の書き方	千葉菜愛

第3回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：席次のルール 弔事のマナー	千葉菜愛	第8回	一般知識：法律に関する知識 技　　能：慶事の種類 時候の言葉	千葉菜愛
第4回	一般知識：カタカナ語 マナー接遇：贈り物のマナー 贈答品の上書き 贈答品のマナー	千葉菜愛	第9回	一般知識：法律に関する知識 技　　能：秘文書の扱い方 ファイリングの 方法	千葉菜愛
第5回	一般知識：経営に関する知識 技　　能：郵便の知識	千葉菜愛	第10回	中間テスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉菜愛

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。
教科書 参考書等	出る順問題集　秘書検定準1級に面白いほど受かる本（株式会社KADOKAWA） 秘書検定準1級集中講義（早稲田教育出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅰは上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

056.秘書基礎Ⅱ

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 行政公務員学科（２年課程）・行政公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ 法律公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	秘書基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	千葉菜愛	成績評価方法	筆記試験 ： 50 ％
			ミニテスト ： 30 ％
			授業態度 ： 20 ％
科目教員のうち実務経験教員			： ％
			： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「秘書基礎Ⅰ」に引き続き、マナー・技能を習得します。組織人として必要な基本的な処理ができるようになります。実務技能検定協会主催秘書検定2級の実務、一般知識の内容を理解することで実務技能検定協会主催秘書検定準1級の取得に繋げていきます。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	一般知識：税務に関する知識 技　　能：会議の準備、会議の知識	千葉菜愛	第6回	一般知識：小切手と手形の知識 技　　能：グラフの書き方（帯・棒・複合グラフ）	千葉菜愛
第2回	一般知識：会社に関する知識 技　　能：会議用語、会議と会議の形式	千葉菜愛	第7回	一般知識：小切手と手形の知識 技　　能：電報の知識	千葉菜愛

第3回	一般知識：会社の関する知識 技　　能：上司のスケジュール管理	千葉菜愛	第8回	一般知識：労務に関する知識 技　　能：新聞出版に関する用語、知識	千葉菜愛
第4回	一般知識：財務に関する知識 技　　能：名刺の整理 職場のレイアウト	千葉菜愛	第9回	一般知識：その他の知識 技　　能：自分側・相手側の言い方 物の数え方	千葉菜愛
第5回	一般知識：財務に関する知識 技　　能：グラフの書き方（折れ線・円グラフ）	千葉菜愛	第10回	総復習 まとめテスト実施および解説 一般知識、マナー接遇、技能	千葉菜愛

準備学習等	日々の復習を欠かさずに行い、知識の定着を図れるよう取り組んでください。 特に一般知識の用語については内容を記述で解答できるように学習してください。
教科書 参考書等	出る順問題集　秘書検定準1級に面白いほど受かる本（株式会社KADOKAWA） 秘書検定準1級集中講義（早稲田教育出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。秘書基礎Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。

057.医療請求事務２級

学科	経理事務学科（２年課程）・ＯＡ事務学科（２年課程）・ ＯＡ事務学科（１年課程）・情報システム学科（３年課程）・ 情報システム学科（２年課程）・ビジネス学科（２年課程）・ 行政公務員学科（２年課程）・行政公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（２年課程）・総合公務員学科（１年課程）・ 法律公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	医療請求事務２級	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	60時間
		単位数	2単位
科目教員	齋藤　享子	授業回数	20回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験 ： 70 ％
			確認テスト ： 20 ％
			授業態度 ： 10 ％
			： ％
			： ％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	主として外来の診療報酬算定とレセプト記載の知識と機能を習得する。基本的な医療関連知識を習得し、受付窓口関連業務から請求業務に対応できることを目標とする。 医療請求事務2級の取得を目指す。 本講義終了後の次年度に実施する「医療請求事務２級演習」に積極的に取り組めるよう、診療報酬に必要な知識を中心に学ぶ。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員	回数	授業内容	科目教員
第1回	医療保険 医療事務のおもな仕事 カルテの上書き レセプトの上書き	齋藤享子	第11回	手術料 骨折非観血的整復術、対称器官、複数手術 画像診断料 ・エックス線診断料構成、診断・撮影方法 ・エックス線診断料の算定方法、加算 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子

第2回	医療保険の給付 保険診療～高額療養費（概要を説明） 初診料・再診料 所定点数と加算点数、留意点、 レセプト記載方法	齋藤享子	第12回	画像診断料 造影剤使用撮影、 注入手技料（腎造影） 異なる方法による撮影（胃造影） カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子
第3回	再診料 所定点数と加算点数、留意点、 レセプト記載方法 カルテ演習、会計表作成	齋藤享子	第13回	検査・病理診断料 ・検査料の構成、留意点、 検査の種類 ・検体検査料の構成、加算（緊検） 尿糞便、血液学、生化学Ⅰ、免疫学 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子
第4回	医学管理 特定疾患療養管理料、栄養食事指導料、乳幼児育児栄養指導料、診療情報提供料、薬剤情報提供料 投薬 ・投薬料、投薬料の構成、投与薬剤の種類 ・投薬料の算定方法、薬剤料	齋藤享子	第14回	検査・病理診断料 ・生化学Ⅱ、微生物学 ・生体検査料の構成、留意点、年齢加算、呼吸循環、超音波、脳波、耳鼻咽喉科（対称器官）、眼科、負荷試験 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子
第5回	投薬 処方料加算、麻薬等加算 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子	第15回	検査・病理診断料 生体検査料の構成、留意点、 年齢加算、内視鏡 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子
第6回	注射料 注射料の構成、 アンプルとバイアル（容器）Ａｑ 注射料の算定方法、注射の種類 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子	第16回	外来診療料 留意点、再診料との違い カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子

第7回	注射料 注射料加算、Ａｑ使用の計算、 ビタミン剤について カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子	第17回	処方箋料 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子
第8回	処置料 処置料の構成と留意点、 処置料の算定方法、時間加算 ・一般処置（創傷処置、熱傷処置、絆創膏固定術） ・皮膚科処置（軟膏処置、鶏眼処置）薬剤料算定について カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子	第18回	リハビリテーション料 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子
第9回	処置料 耳鼻咽喉科処置 （対称器官、ネブライザー薬剤） 産婦人科処置、眼科処置、 整形外科処置、ギプス カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子	第19回	在宅医療 往診料、在宅患者訪問診療料 在宅自己注射指導管理料 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子
第10回	手術料 ・手術料、手術料の構成と留意点 ・手術料の算定方法、加算、 練習問題、レセプト記載方法 創傷処理、小児創傷処理 皮膚切開術、皮膚皮下腫瘍摘出術 カルテ演習、レセプト作成	齋藤享子	第20回	医学管理 指導管理（診療情報提供料等） カルテ演習、レセプト作成 学科対策演習・解説	齋藤享子

準備学習等	主に問題集で復習を行い知識の定着を図ること。正確性はもちろん迅速に処理する能力も求められるため、定期的にテストを実施し実力を確認しながら進めていく。
教科書 参考書等	医療請求事務2級テキスト、問題集、解答集、薬価表、診療点数早見表、医療秘書実務シリーズ 医療関連知識、参考文献：薬価基準（じほう）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 医療請求事務2級は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。

058.公会計

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	公会計	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	筆記試験　：　70　％
			平常点　：　30　％
			：　％
			：　％
			：　％
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	地域住民に対して行政活動の説明・報告、地方議会における予算・決算審議での利用などに必要な情報を財務諸表によって提供できるようになることを目的とする。本科目では地方公会計検定試験に合格できるレベルの知識を身につけることが到達目標となる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	地方公会計の目的と意義・財務書類	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第2回	財務書類（一般会計）の作成手順・仕訳(1)	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第3回	仕訳(2)・固定資産台帳の整備、記載内容と記載対象範囲および記載単位	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第4回	減価償却・耐用年数等	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第5回	資産の評価基準と評価方法	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第6回	有形固定資産の具体的評価方法	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第7回	固定資産台帳の整備手順	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第8回	財務書類の相互関係、帳簿記入の流れ	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第9回	総合問題演習	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章

第10回	総合問題演習	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第11回	総合問題演習	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第12回	過去問題演習	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第13回	過去問題演習	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第14回	過去問題演習	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章
第15回	過去問題演習	前田　幸仁 佐々木　智也 佐藤　弘章

準備学習等	予習の必要はありません。各回の授業を必ず受講し、知識が定着するまで復習すること。
教科書 参考書等	地方公会計検定教科書/問題集株式会社 （大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、 一部変更する場合がある。

学科	法律公務員学科（２年課程）・法律公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	救命講習	授業形態	実習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		授業時間数	30時間
		単位数	1単位
科目教員	前田　幸仁 佐々木　大貴 尾形　幸祐	授業回数	15回
科目教員のうち実務経験教員		成績評価方法	実技 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	心肺蘇生法（成人対象）を、救急車が現場到着するのに要する時間程度でき、自動体外式除細動器（AED）について理解し、正しく使用することができる。異物除去法及び大出血時の止血法を理解でき、行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	応急手当の目的	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第2回	応急手当の必要性	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第3回	基本的心肺蘇生法【反応の確認、通報】	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第4回	基本的心肺蘇生法【胸骨圧迫法】	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第5回	基本的心肺蘇生法【人口呼吸法】	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第6回	基本的心肺蘇生法【乳児に対する対応】	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第7回	基本的心肺蘇生法【小児に対する対応】	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第8回	基本的心肺蘇生法【一連の実技】	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐

第9回	AEDの基礎知識	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第10回	AEDの基本使用方法	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第11回	AEDの注意点	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第12回	AED使用による一連の流れ	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第13回	異物除去要領	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第14回	大出血時の止血方法	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐
第15回	心肺蘇生とAEDの一連の実技	前田幸仁 佐々木大貴 尾形幸祐

準備学習等	特に予習は必要ありません。
教科書 参考書等	心肺蘇生訓練用人形（成人）３体、AEDトレーナ、消毒用機材等
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。